
坂祝町 道路網整備計画
2017 改訂版

平成29年1月
坂祝町

■■■ 目 次 ■■■

第1章 はじめに	1
1-1 調査の背景と目的	1
1-2 調査の流れ	1
第2章 坂祝町の現況	2
2-1 広域的位置づけ	2
2-2 人口の状況と動向	4
2-3 土地利用の状況	7
2-4 法規制の状況	9
2-5 自然・歴史的条件	10
2-6 商工業の状況	12
2-7 交通の状況	13
2-8 上位・関連計画	22
第3章 道路整備の問題と課題	30
第4章 幹線道路整備計画	31
4-1 基本方針の設定	31
4-2 将来幹線道路網の設定	32
4-3 将来交通量推計	34
4-4 整備優先性の検討	44
第5章 整備プログラムの策定	65
5-1 都市内道路網整備計画の検討	65
5-2 今後の課題	68

第1章 はじめに

1-1 調査の背景と目的

坂祝町（以下、「本町」という。）は、美濃加茂市、各務原市、可児市等の隣接する都市との結びつきが強いまちです。

こうした周辺都市との連絡機能を持つ広域的な幹線道路の整備が進められており、広域交通体系の確立を図り、将来的な道路網の骨格となる広域的な幹線道路にアクセスする補助幹線道路網、生活用道路網の整備を進めることで市街地交通体系の確立を図り、住民生活の安全性、利便性の向上及び産業活動の円滑化の実現を目指すため、将来の幹線道路網の現状と課題を踏まえた道路網整備計画策定が必要となってきたことから、平成22年2月に「坂祝町道路網整備計画」を策定し、道路整備を進めてきました。

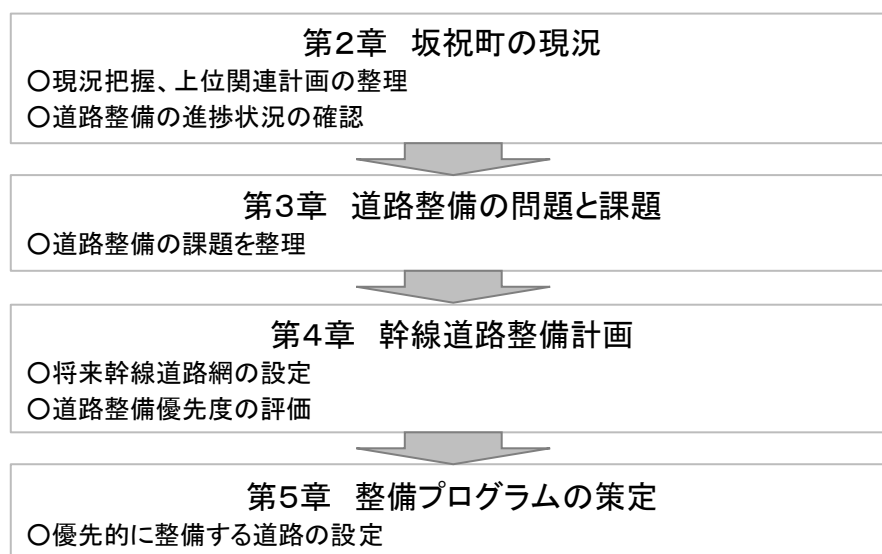
計画策定以降、国道21号坂祝バイパスの勝山IC～国道248号バイパス間が整備され、本町内の交通の流れが変化しています。また、坂祝町第6次総合計画、坂祝町人口ビジョン及び坂祝町総合戦略などの本町のまちづくりの方向性を示す計画が策定されるなど、道路整備を取り巻く環境が変化しています。

そこで、これらの道路整備を取り巻く環境の変化などを踏まえ、今後の本町における効率的な交通処理が可能な将来道路網の検討と効果的な道路整備のための客観的な評価に基づく道路の整備優先順位を定める「道路網整備計画」の見直しを行います。

なお、今回の見直しは、基本的な方針や評価項目などは踏襲し、適切な将来道路網の見直し及び評価の時点修正を行うものとします。

1-2 調査の流れ

本調査は、以下のフローに沿って行います。



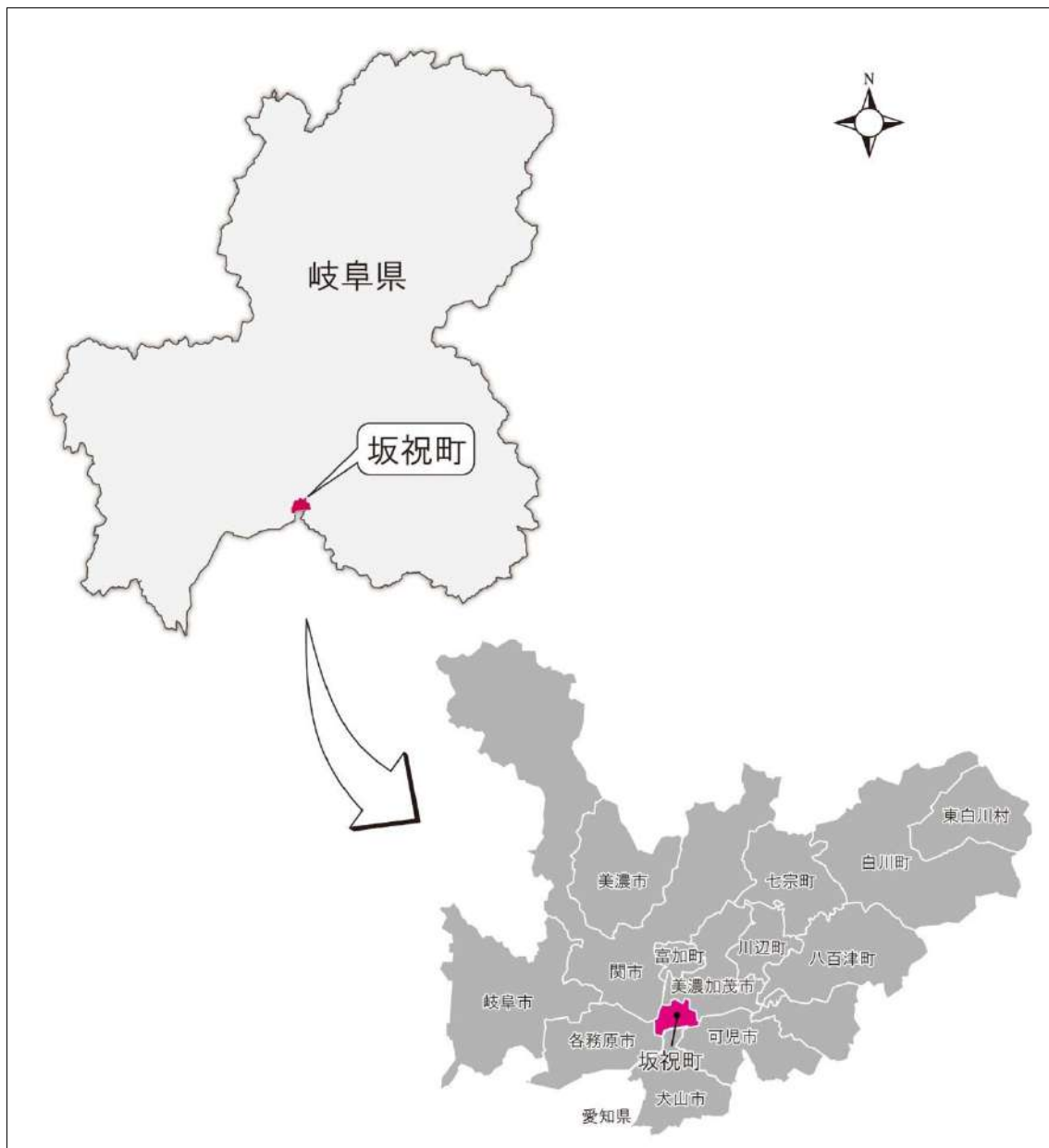
第2章 坂祝町の現況

2-1 広域的位置づけ

(1) 位置

本町は、加茂郡の西南、岐阜県の中南部に位置し、周囲を可児市、美濃加茂市、関市、各務原市と愛知県の犬山市の5つの市に囲まれた東西4.9km、南北4.3km、面積12.87km²の町です。

周辺的美濃加茂市、川辺町、富加町、七宗町、白川町、八百津町、東白川村で「みのかも定住自立圏」を形成しています。



図：坂祝町の位置

(2) 広域的交通網

本町の南部には、岐阜県の主要幹線道路である国道 21 号が JR 高山本線と平行して東西に伸び、周辺には国道 41 号、248 号、418 号が通っています。近年、国道 21 号坂祝バイパスや国道 248 号バイパス、名古屋圏の主要都市を結ぶ東海環状自動車道など広域的な幹線道路が開通しています。鉄道は、JR 高山本線のほかに、周辺には JR 太多線、名鉄広見線、名鉄犬山線、名鉄小牧線、長良川鉄道が走っています。



図：広域交通網

2-2 人口の状況と動向

(1) 総人口・世帯数

本町は、昭和60年から平成12年にかけて人口が増加していましたが、平成17年以降は減少しています。

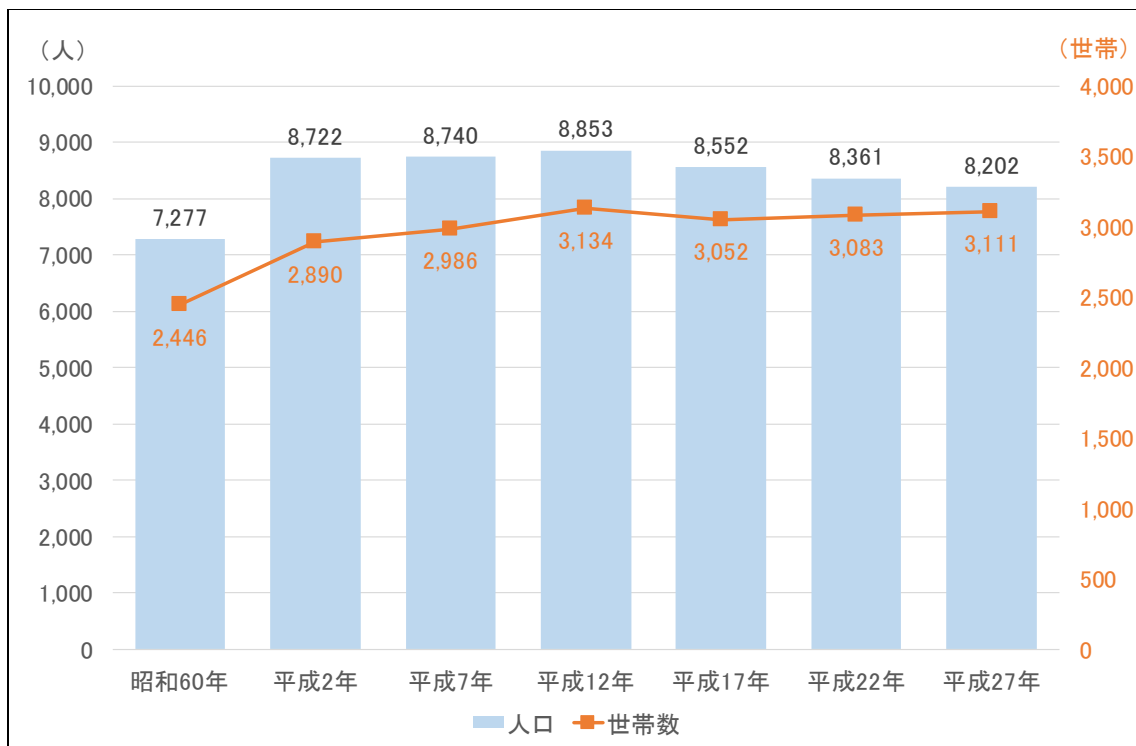
世帯数は、平成12年まで増加し平成12年から平成17年にかけて減少しましたが、平成22年から再度緩やかではありますが増加しています。

平均世帯人員は平成2年をピークに減少していますが、岐阜県の平均と比較すると減少率は少なくなっており、県平均に近い値となっています。

表：人口・世帯数の推移

区域	種別	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
坂祝町	人口	7,277	8,722	8,740	8,853	8,552	8,361	8,202
	世帯数	2,446	2,890	2,986	3,134	3,052	3,083	3,111
	人/世帯	2.98	3.02	2.93	2.82	2.80	2.71	2.64
岐阜県	人口	2,028,536	2,066,569	2,100,315	2,107,700	2,107,226	2,080,773	2,031,903
	世帯数	567,946	602,906	645,341	680,317	712,062	737,151	753,212
	人/世帯	3.57	3.43	3.25	3.10	2.96	2.82	2.70

資料：国勢調査



図：人口・世帯数の推移

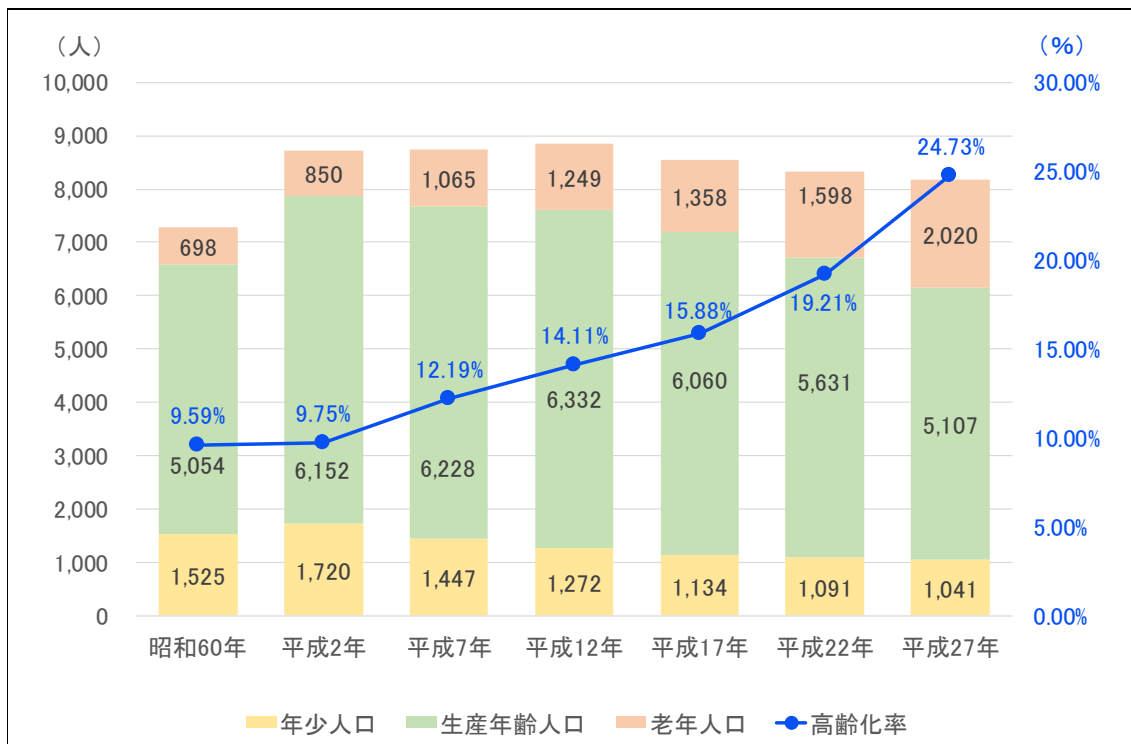
(2) 年齢階層別人口

本町の人口構成の推移を見ると、年少人口は平成2年以降減少しており、生産年齢人口は平成12年までは増加していたものの、平成17年には減少に転じています。老年人口は毎年増加しており特に高齢化率は平成7年以降急増しています。岐阜県の高齢化率を下回ってはいるものの、高齢化が急速に進んでいます。

表：年齢階層別人口の推移

区域	種別	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
坂祝町	年少人口	1,525	1,720	1,447	1,272	1,134	1,091	1,041
	生産年齢人口	5,054	6,152	6,228	6,332	6,060	5,631	5,107
	老年人口	698	850	1,065	1,249	1,358	1,598	2,020
	高齢化率	9.59%	9.75%	12.19%	14.11%	15.88%	19.21%	24.73%
岐阜県	年少人口	448,693	387,665	347,733	322,769	305,845	289,748	266,998
	生産年齢人口	1,359,334	1,415,333	1,430,294	1,401,064	1,357,583	1,282,800	1,185,431
	老年人口	220,397	262,594	322,209	383,168	442,124	499,399	567,571
	高齢化率	10.87%	12.71%	15.34%	18.19%	21.00%	24.10%	28.10%

資料：国勢調査



図：年齢階層別人口の推移

(3) 流出入人口

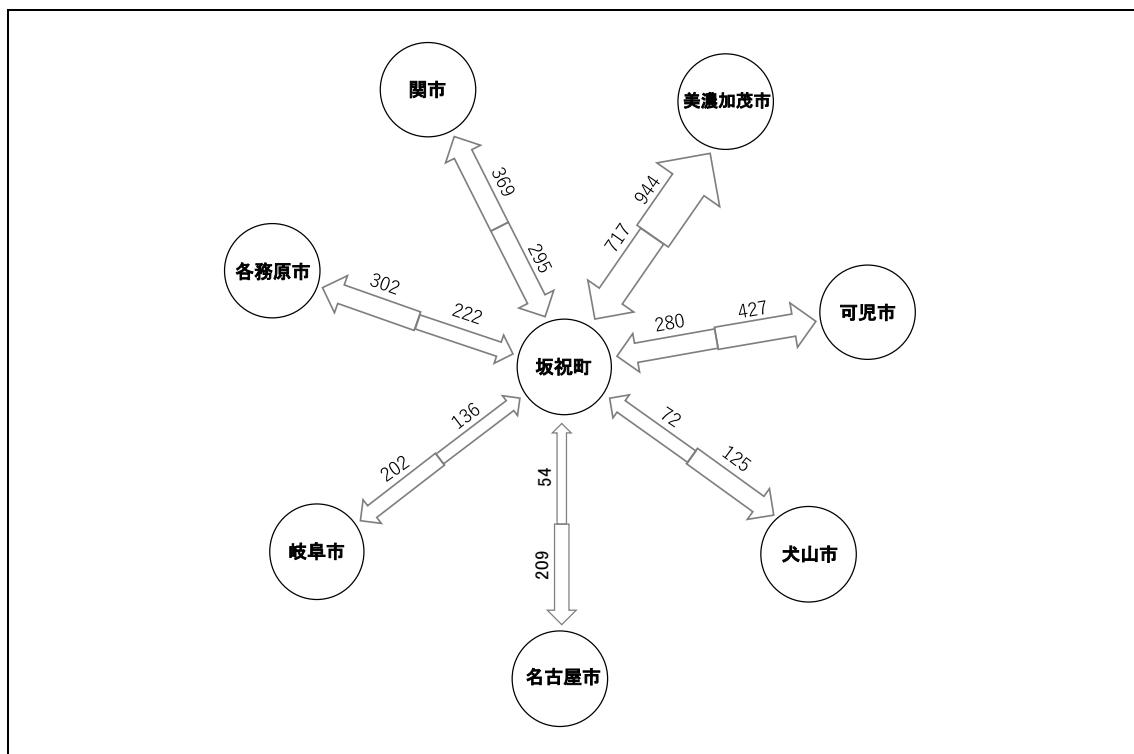
本町の平成 22 年における就業者・通学者の流出入人口は、流出人口が 3,185 人、流入人口が 2,525 人と流出超過となっています。

主な流出入先は、美濃加茂市が最も多く、流出・流入ともに約 3 分の 1 を占めており、美濃加茂市との関係が強いことがわかります。

表：流出入人口

市町村名	流出		流入	
	人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)
岐阜市	202	6.3	136	5.4
関市	369	11.6	295	11.7
美濃加茂市	944	29.6	717	28.4
各務原市	302	9.5	222	8.8
可児市	427	13.4	280	11.1
その他の岐阜県	345	10.8	464	18.4
名古屋市	209	6.6	54	2.1
犬山市	125	3.9	72	2.9
その他の愛知県	253	7.9	227	9.0
その他の都道府県	9	0.3	58	2.3
総数	3,185	100.0	2,525	100.0

資料：H22国勢調査（不詳除く）



図：主な流出入人口の状況

2-3 土地利用の状況

本町の土地利用状況は、山林が最も多く、35.8%を占めています。次いで畑が12.6%、田が8.9%で農地は合せて21.5%となっています。また、都市的土地利用では住宅用地が8.8%と多く、工業用地は大規模な工場や採石場があることから7.8%と住宅用地とほぼ同等の面積で、商業用地は1.4%と少なくなっています。

表:土地利用状況

種別		面積 (ha)	割合	
自然的土地利用	農地	田	114.28	8.9%
		畑	162.40	12.6%
		小計	276.68	21.5%
	山林	461.39	35.8%	
	水面	31.81	2.5%	
	その他自然地	114.12	8.9%	
小計		884.00	68.6%	
都市的土地利用	宅地	住宅用地	113.87	8.8%
		商業用地	18.40	1.4%
		工業用地	100.29	7.8%
		小計	232.56	18.0%
	農林漁業施設用地	11.35	0.9%	
	公益施設用地	30.25	2.3%	
	道路用地	88.09	6.8%	
	交通施設用地	6.35	0.5%	
	公共空地	5.31	0.4%	
	その他公的施設用地	0.00	0.0%	
	その他の空地	31.09	2.4%	
	小計		405.00	31.4%
	合計		1,289.00	100.0%

資料:都市計画基礎調査(H26)

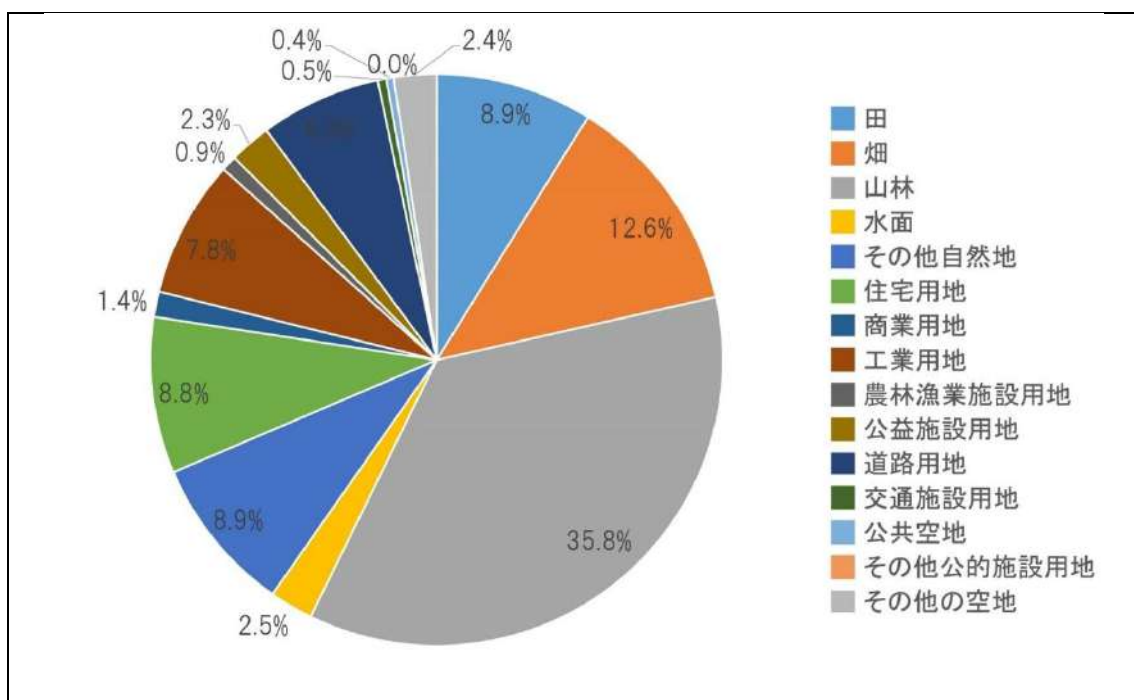
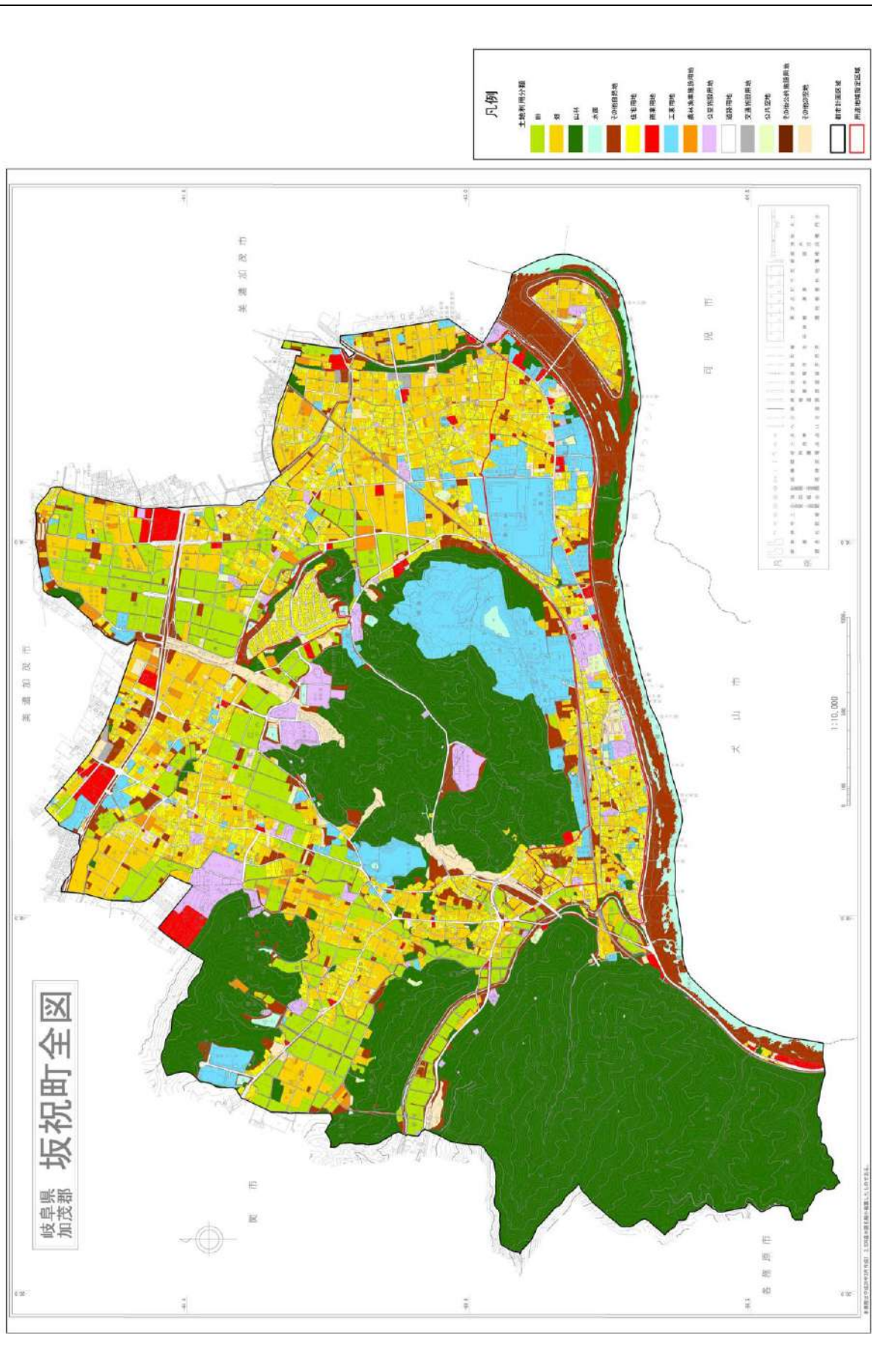


図:土地利用状況

平成26年度岐阜県都市計画基礎調査 土地利用現況図（坂祝町）



図：土地利用状況

2-4 法規制の状況

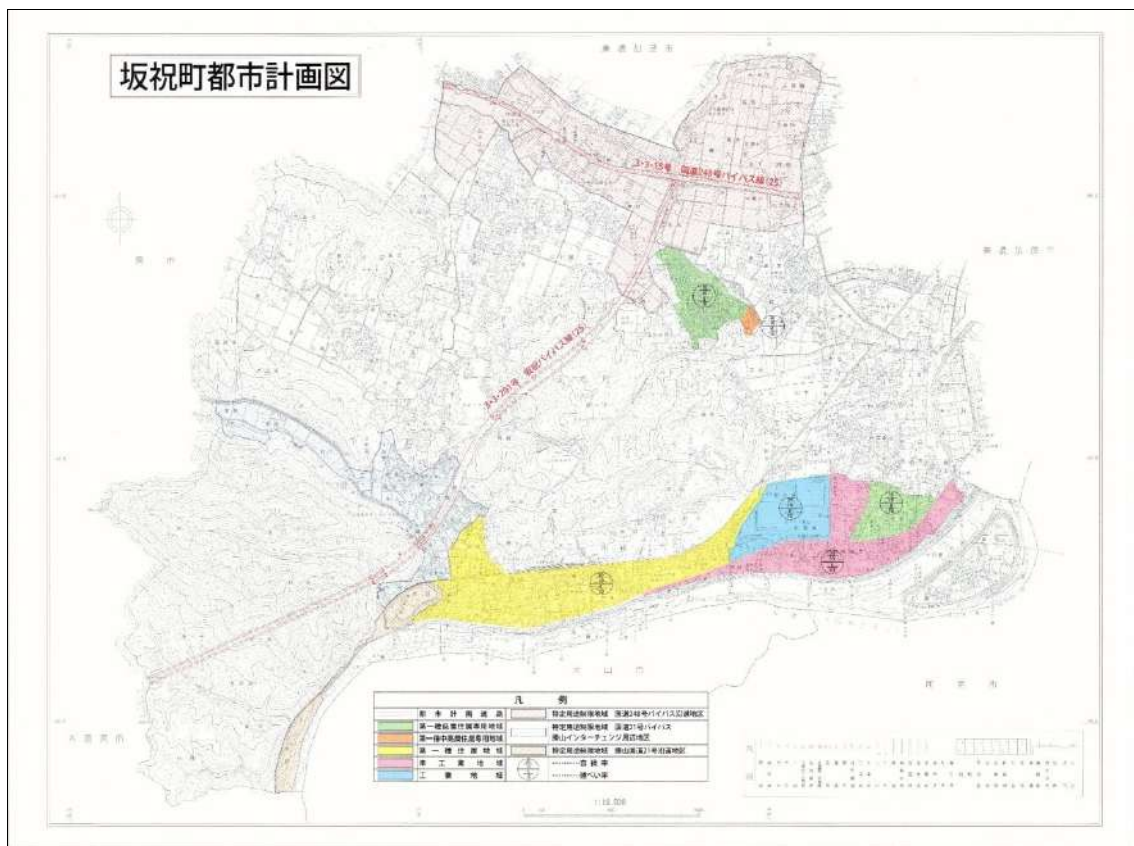
本町は、非線引きの都市計画区域（美濃加茂都市計画区域）であり、国道 21 号沿道に工業系、住居系の用途地域が、大規模な住宅団地開発を行った加茂山地区に住居系の用途地域が指定されています。用途地域の面積は 123.1ha で町面積の 9.6%となっています。

また、国道 21 号坂祝バイパスや国道 248 号バイパスの沿道は用途地域が指定されておらず、バイパス整備により、沿道の無秩序な開発が懸念されることから、平成 21 年 4 月に特定用途制限地域の指定を 3 地区、計 191ha で行っています。

表：用途地域の指定状況

	第 1 種 低層住居 専用区域	第 1 種 中高層住居 専用区域	第 1 種 住居区域	準工業 地域	工業 地域	用途 地域 計	町面積
面積 (ha)	25.0	1.1	49.0	30.0	18.0	123.1	1,289
割合	1.9%	0.1%	3.8%	2.3%	1.4%	9.6%	100.0%

資料：都市計画現況調査 (H26)

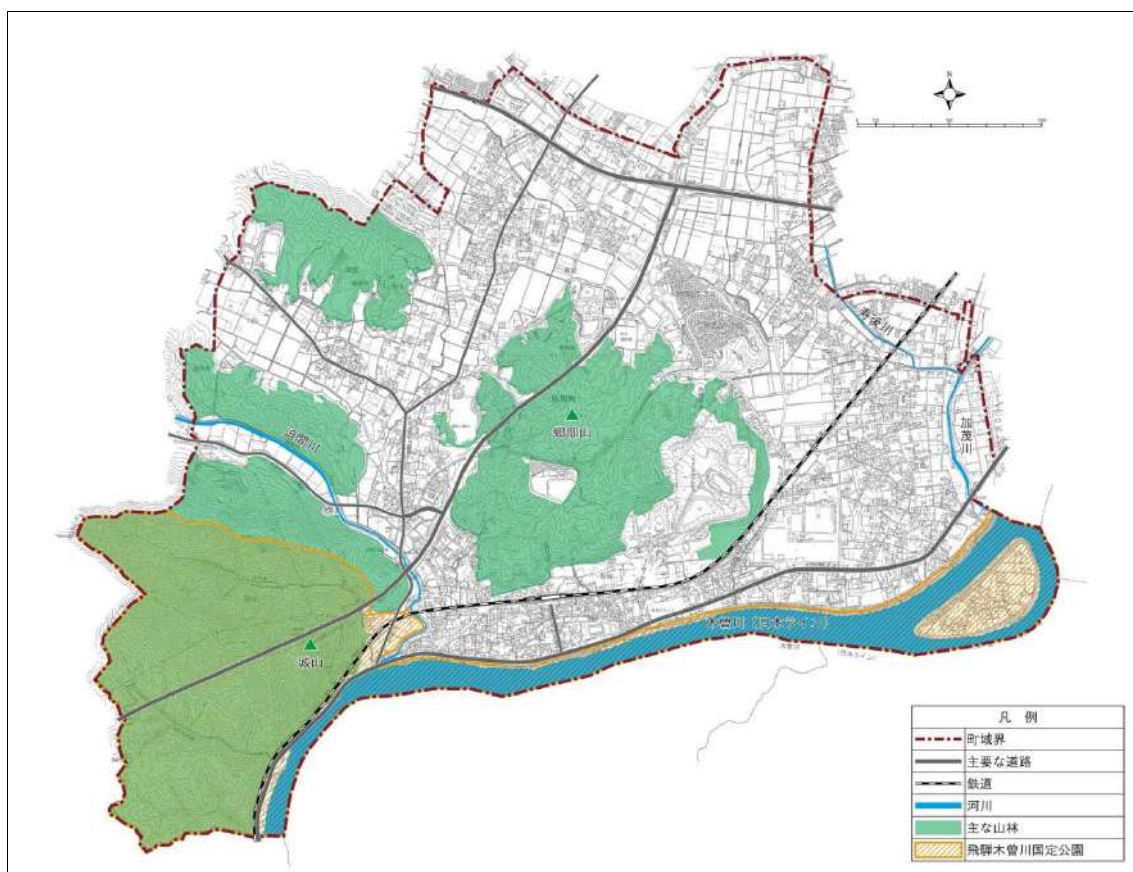


図：都市計画総括図

2-5 自然・歴史的条件

(1) 自然的条件

本町は、加茂郡の西南、岐阜県の中南部に位置しています。名勝日本ライン木曾川に面し、飛騨木曾川国定公園に指定された自然景観に恵まれた町です。町の中央部は郷部山丘陵が占め、これらを取り囲むように平野部が広がり、西部には、城山などの急峻な山地が連なっています。また、各務原市との境となる西部の山間地の麓には農地や住宅地が広がり、まちのシンボルでもある城塚山頂の猿啄城展望台への登山道が整備されています。



図：自然的条件

(2) 文化財

本町には、古くから人が住んでいたことを示す火塚古墳、天正3年(1575年)に廃城となるまで戦国武将たちの夢と悲劇を生む舞台となった啄啄城址、中山道を通る旅人が道中の安全を祈った岩屋観音、明治初期の廃仏毀釈の断行で、加茂郡東白川村から村人に背負われて坂祝へ運ばれて来た西国三十三所観世音菩薩など、多くの歴史期限が文化財として指定されています。

表:文化財一覧

番号	名称	番号	名称
1	河尻肥前守肖像の軸	9	深萱の農村舞台
2	酒倉庚申像	10	涼樹院古渡唐織九條御袈裟
3	火塚古墳	11	稲葉正休寄進状
4	安楽寺本尊聖観世音菩薩	12	猿啄城跡
5	西国三十三所観世音菩薩	13	岩屋観音堂
6	黒岩神社の一の鳥居	14	取組渡船場跡
7	獅子頭	15	取組庚申像
8	伝源義綱奉納の轡	16	行幸巖

資料:町ウェブサイト、さかほぎ文化財マップ

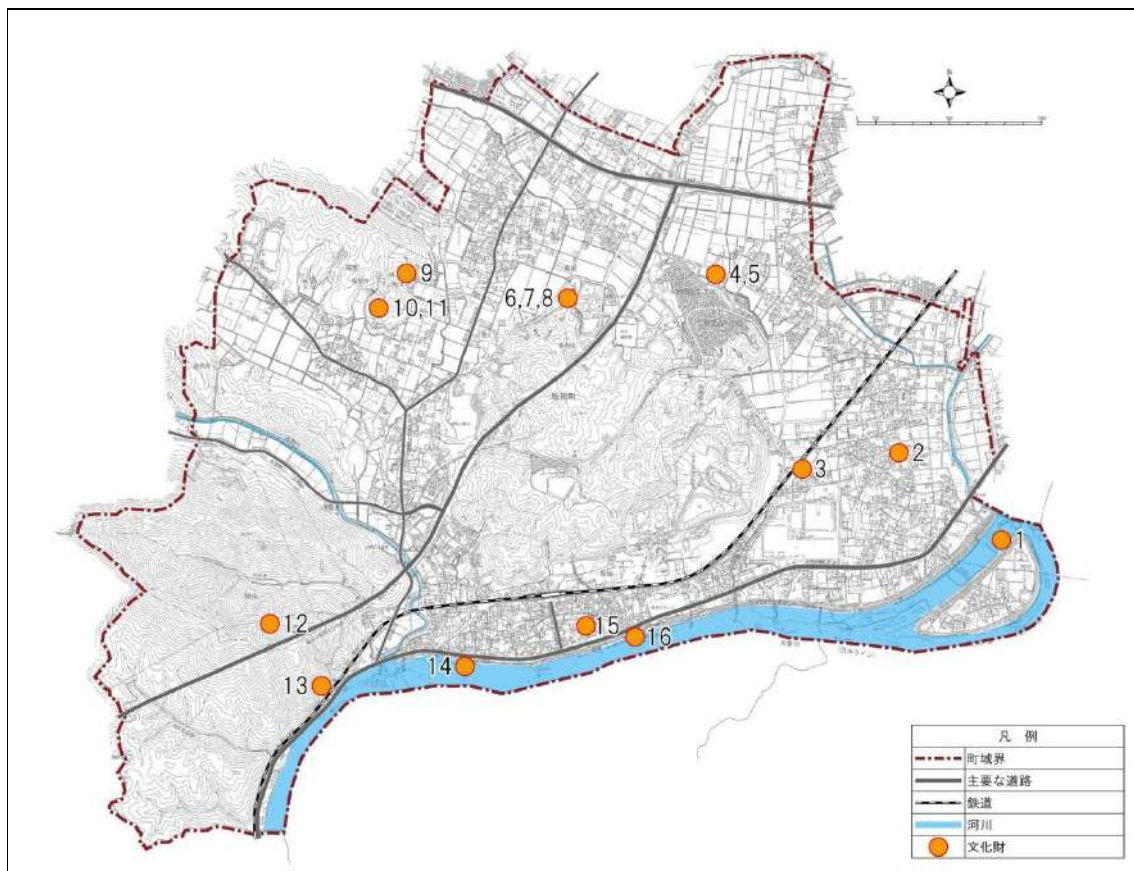
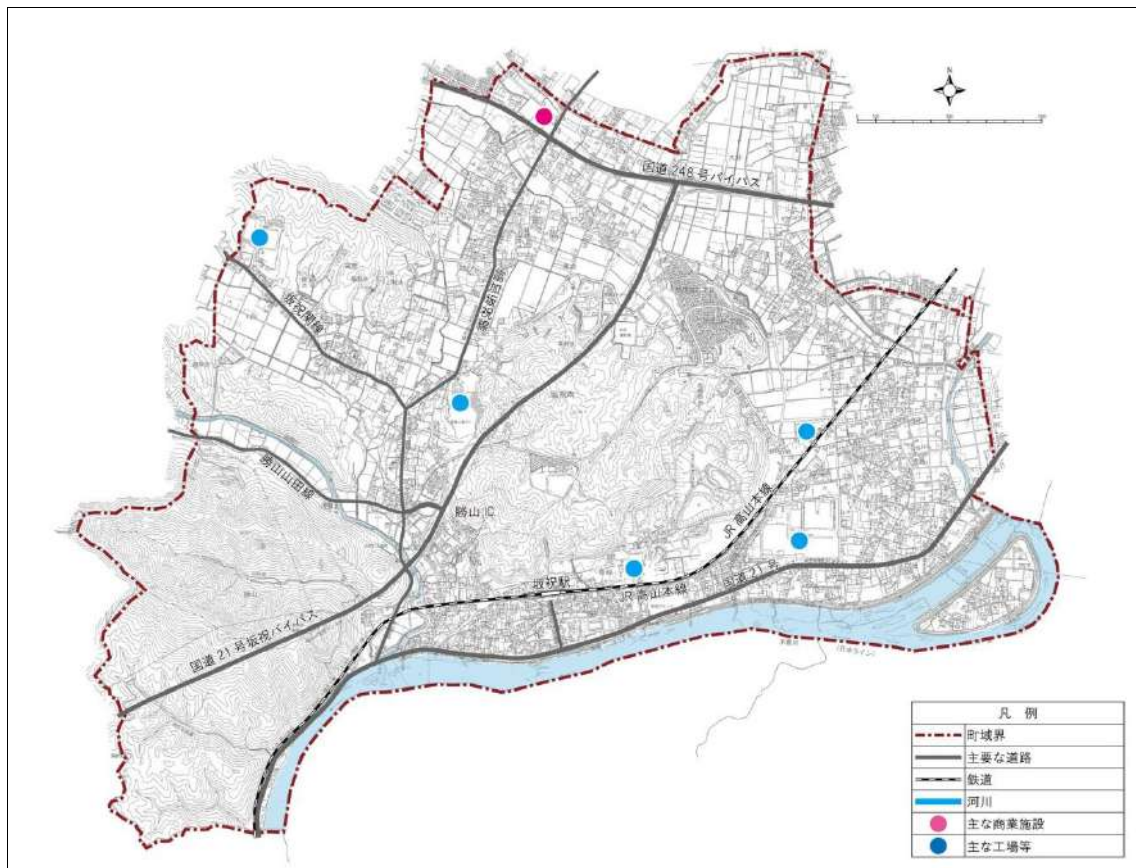


図:文化財位置図

2-6 商工業の状況

本町には、大規模小売店舗が国道 248 号バイパス沿いに 1 店舗あります。主な産業系施設は、国道 21 号沿いの工業系用途地域には自動車製造業をはじめとする工場が立地しており、その他郷部山の採石場や物流系の倉庫等があり、町内の道路においても大型車の通行がみられます。



図：主な商業系施設と工業系施設の状況

2-7 交通の状況

(1) 道路の状況

1) 主要道路の状況

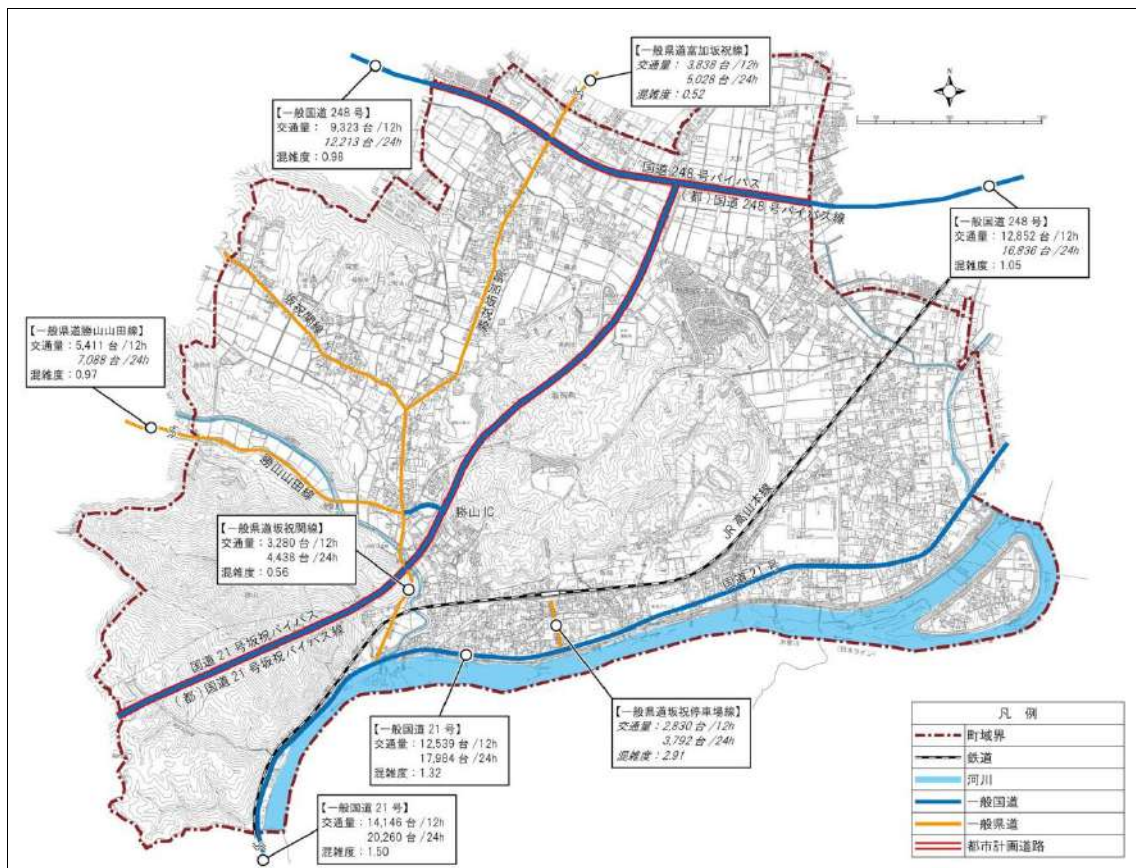
本町には、岐阜県の主要幹線道路である国道 21 号及び国道 21 号坂祝バイパス（平成 28 年 3 月全線開通 都市計画道路国道 21 号坂祝バイパス線）が東西に伸び、北部には国道 248 号バイパス（平成 20 年 3 月全線開通 都市計画道路国道 248 号バイパス線）があります。また、西部には一般県道（以下「(一)」とする）富加坂祝線、(一)坂祝関線、(一)勝山山田線と国道 21 号と JR 坂祝駅を結ぶ(一)坂祝停車場線があります。

主な道路の平日 12 時間の交通量を平成 22 年度の道路交通センサスで見ると、国道 21 号が 14,161 台と最も多くなっています。

表：交通量の推移

路線	交通量調査地点	平日12時間交通量(台)					平日混雑度	12時間大型車混入率
		H6	H9	H11	H17	H22		
国道21号	坂祝町取組	19,157	16,051	14,713	14,765	12,539	1.32	21.7
	各務原市鷺沼山崎5丁目	19,157	19,685	18,506	18,136	14,161	1.50	20.6
国道248号	美濃加茂市西町	1,460	7,039	9,677	7,384	12,852	1.05	10.0
	坂祝町黒岩	—	—	—	—	9,323	0.96	12.4
一般県道富加坂祝線	非観測	3,102	3,808	4,034	3,889	3,838	0.52	17.9
一般県道坂祝関線	坂祝町深萱	6,136	6,696	5,672	5,790	3,280	0.56	24.2
一般県道勝山山田線	関市倉知	4,848	5,071	4,720	5,435	5,411	0.97	12.8
一般県道坂祝停車場線	非観測	2,571	2,918	3,131	2,906	2,830	2.91	8.1

資料：道路交通センサス ※斜体は推計値



図：主要道路の交通量

2) 町道の認定状況

本町には、1級町道が11路線、2級町道が10路線あり、それらを補完する町道が446路線あり、総延長は129.6kmあります。

表:町道一覧

種別		路線番号	路線数
1級町道		1～11	11
2級町道		101～110	10
その他	酒倉地区	1001～1141	141
	取組地区	2001～2037	37
	勝山地区	3001～3046	46
	深萱地区	4001～4059	59
	黒岩地区	5001～5081	81
	大針地区	6001～6065	65
	加茂山地区	7001～7017	17
計			446
		総延長	129.6km

資料:坂祝町路線網図、坂祝町公共施設等総合管理計画

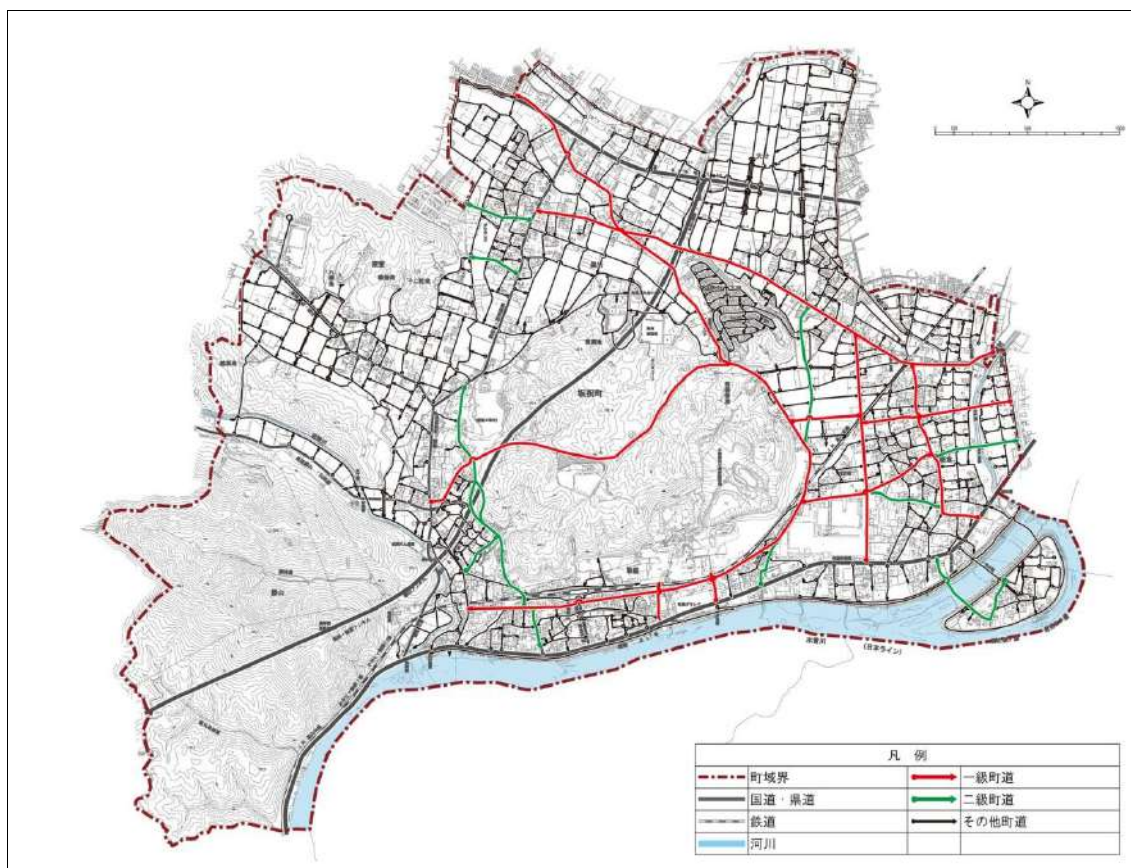


図:町路線網

4) 整備進捗状況

計画を策定した平成 23 年度以降に、本町において町道の整備を進めてきており、平成 27 年度までに 66 路線の改良を行いました。

表: 町道整備状況

年度	道路改良	舗装改良	側溝改良
平成23年度	3路線	1路線	10路線
平成24年度	15路線	—	5路線
平成25年度	12路線		
平成26年度	11路線		
平成27年度	9路線		

資料: 産業建設課

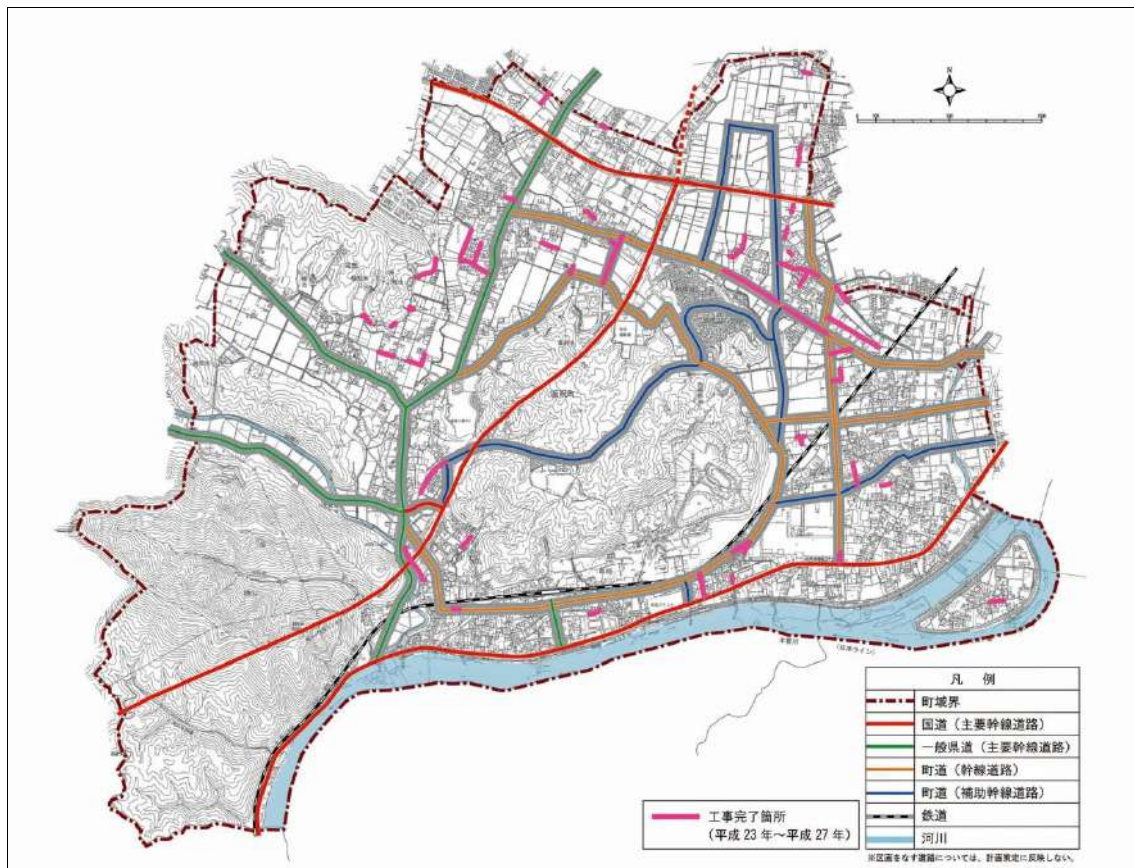


図: 町道工事完了箇所

5) 交通事故発生状況

本町では、平成23年から27年までの5カ年で人身事故が195件発生し、うち死亡事故は2件発生しています。人身事故が多発する箇所は、国道や県道などの他、町道でも見られます。

表: 交通事故発生状況

年度	人身事故発生件数	うち死亡事故	人身事故多発場所 (2件以上発生)
平成23年	48	—	7
平成24年	41	1	8
平成25年	39	1	8
平成26年	27	—	3
平成27年	40	—	7
計			

資料: 産業建設課

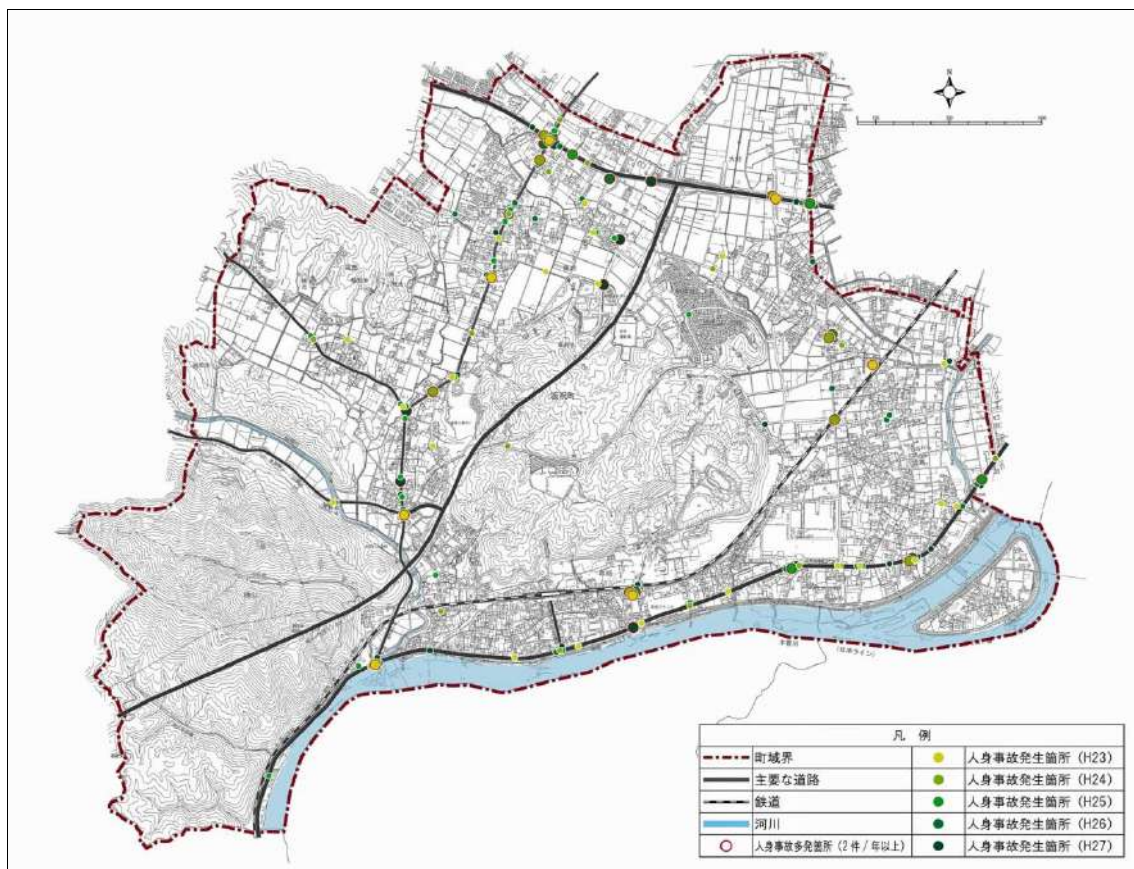
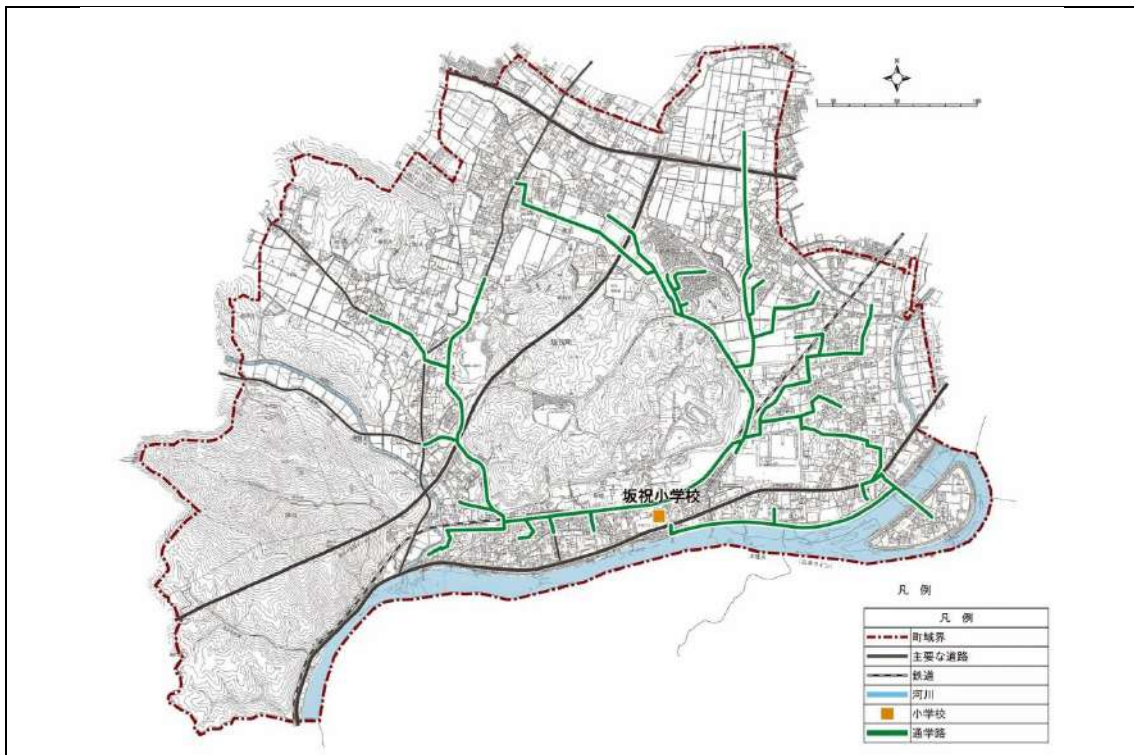


図: 人身事故発生箇所

(2) 通学路の状況

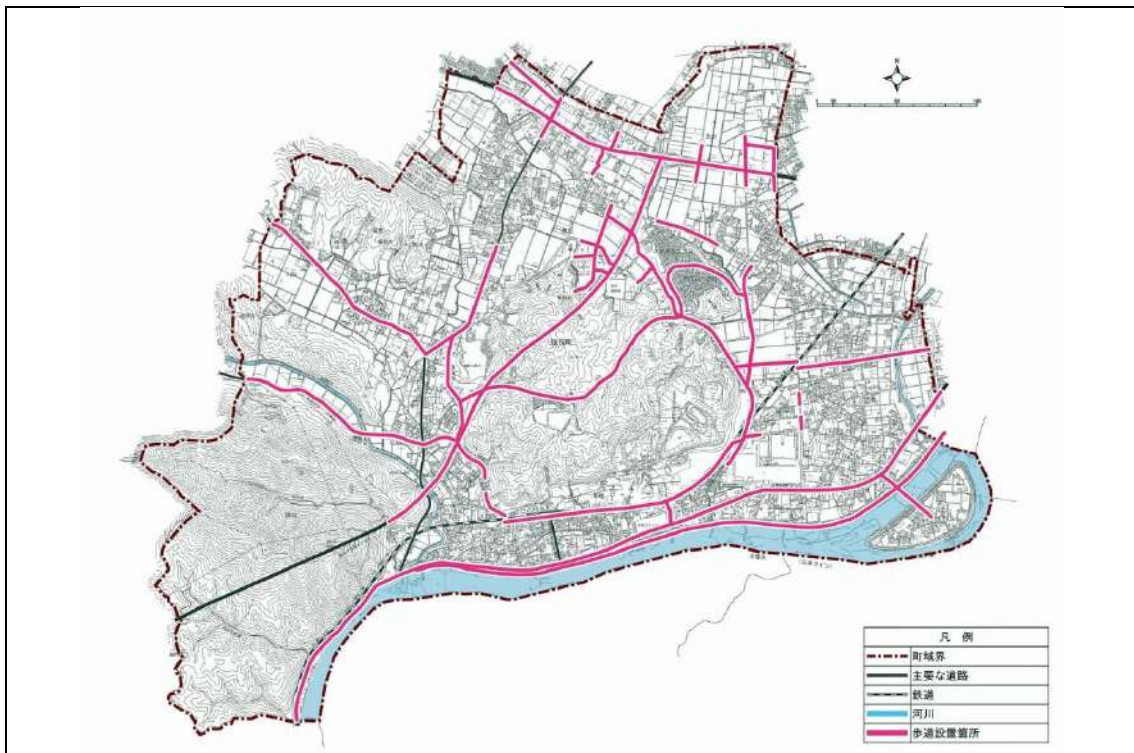
本町では、小学校が坂祝小学校の1校のみであり、通学路が指定されています。中学校（坂祝中学校）については、通学路の指定はされていません。



図：通学路の状況

(3) 歩道設置状況

本町では、国県道や1級町道を中心に歩道が整備されています。



図：歩道設置状況

(4) 公共交通の状況

1) 鉄道

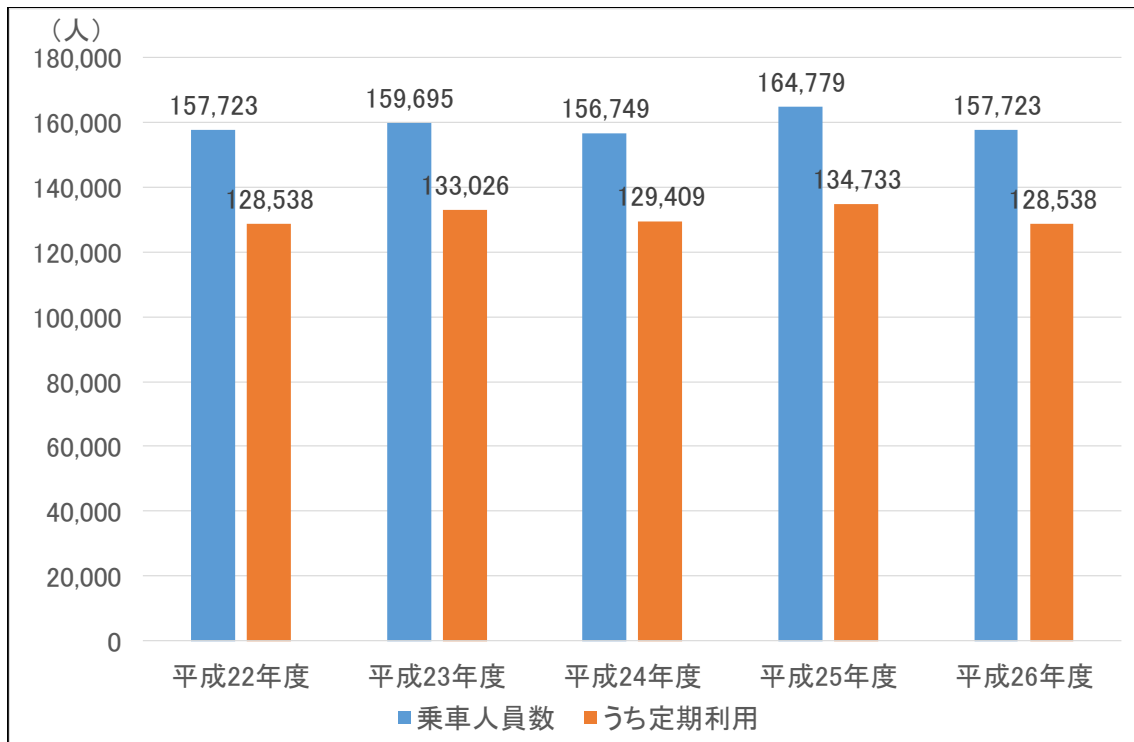
本町には、JR 高山本線の坂祝駅があり、平成 22 年度から平成 26 年度の乗車人員はほぼ横ばいで、平成 26 年度では年間約 16 万人、1 日平均 432 人の利用となっています。

また、坂祝駅の側線から分岐する専用線上にセメントの荷役設備がありましたが、平成 19 年 3 月以降使用されていません。

表：坂祝駅の乗車人員の推移

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
乗車人員(人)	157,723	159,695	156,749	164,779	157,723
うち定期利用(人)	128,538	133,026	129,409	134,733	128,538
日平均乗車人員(人/日)	432	436	429	451	432

資料：岐阜県統計書



図：坂祝駅の乗車人員の推移

2) バス

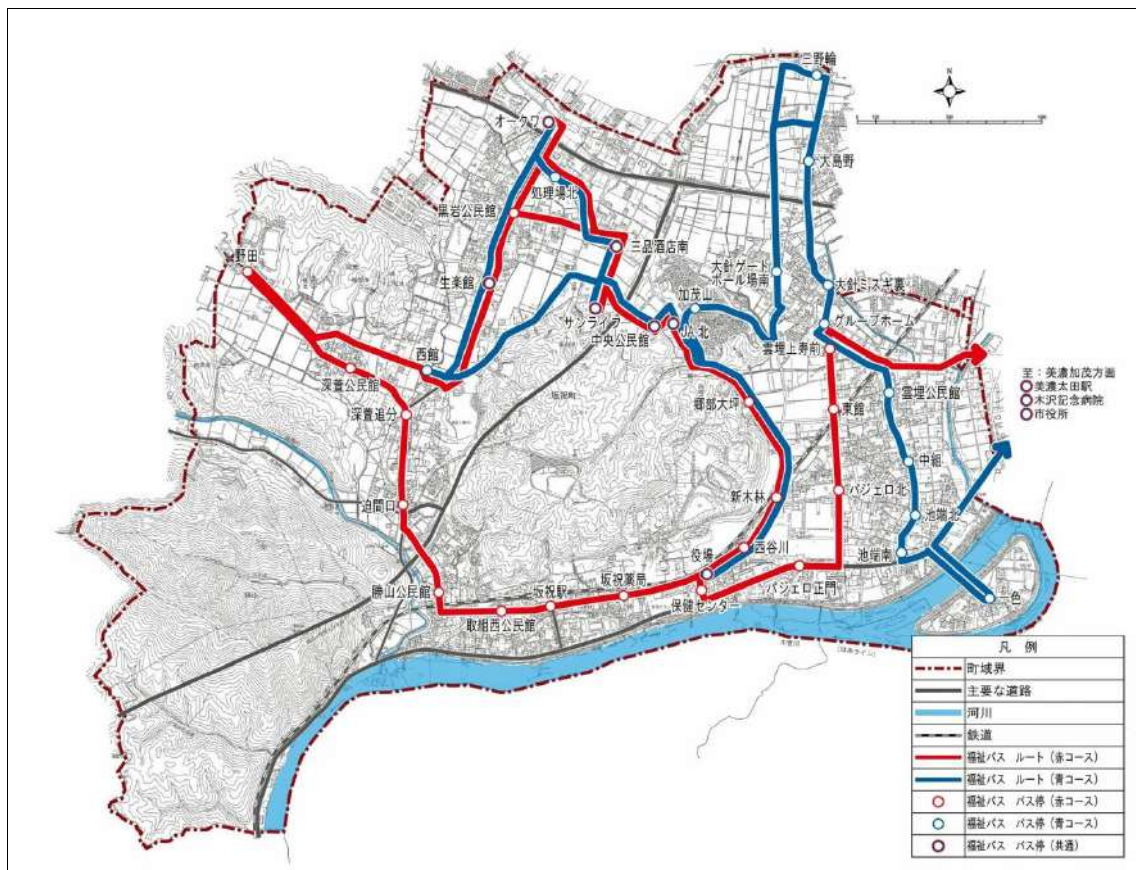
本町には、路線バスはなく、町が運行する無料の福祉バスが2ルートあります。

なお、両ルートとも、町内だけでなく、美濃加茂市の「市役所」「木沢記念病院」「美濃太田駅」を結んでいます。

表：福祉バスの運行状況

ルート	便数	停留所数	始発	終発
赤コース	5便	町内:23箇所 町外:3箇所	役場発 8:00	役場着 16:25
青コース	5便	町内:21箇所 町外:3箇所	役場発 8:00	役場着 16:27

資料：町ウェブサイト



図：福祉バスルート

(5) 施設配置の状況

本町には、主な施設として、体育施設が 12（うち民間施設 1）施設、保健・福祉施設が 13（うち民間施設 10）施設、教育施設が 7（うち民間施設 1）施設、レクリエーション施設が 1 施設あります。

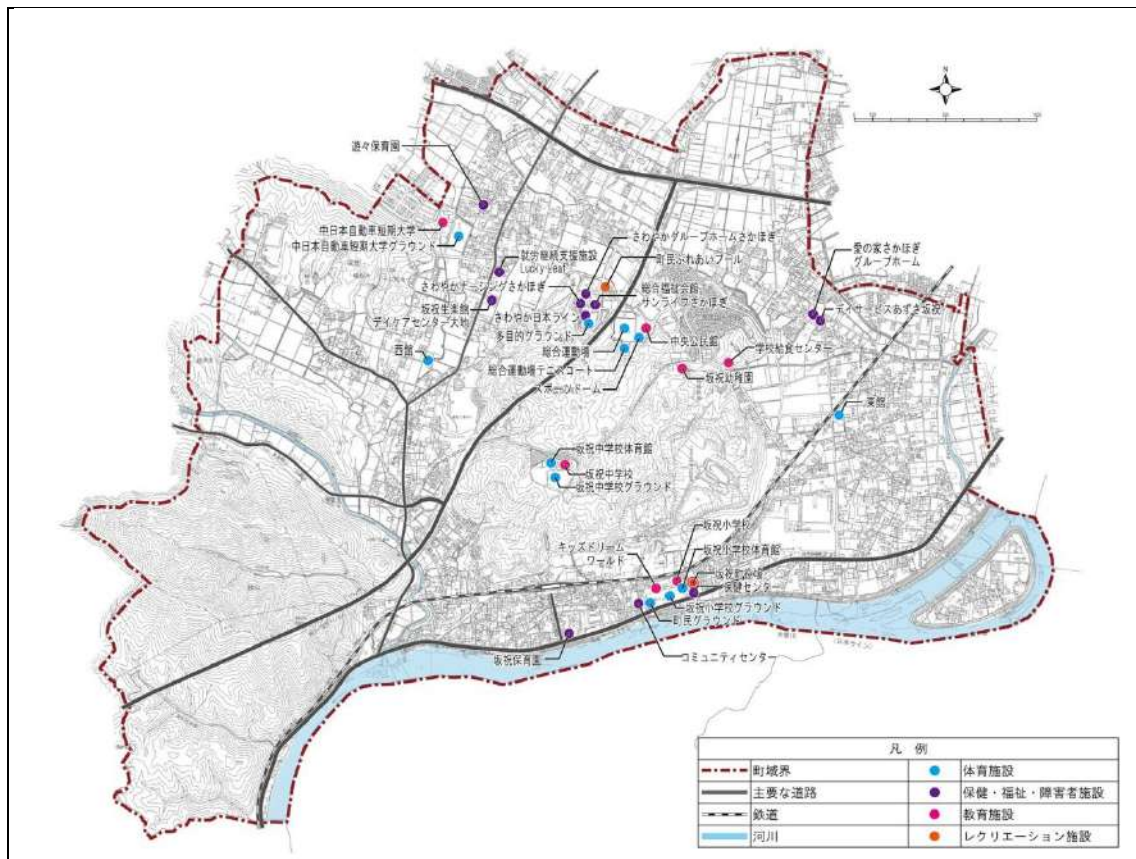
これらの施設は、主に役場周辺と郷部山の北側に集積して配置されています。

表：町内の主な施設

種別	名称	種別	名称
体育施設	スポーツドーム	保健・福祉・ 障害者施設	さわやか日本ライン※
	西館		愛の家さかほぎグループホーム※
	東館		デイサービスあずさ坂祝※
	坂祝小学校体育館		坂祝生楽館※
	坂祝中学校体育館		デイケアセンター大地※
	総合運動場		就労継続支援施設 Lucky Leaf※
	町民グラウンド		坂祝保育園※
	多目的グラウンド		遊々保育園※
	坂祝小学校グラウンド	教育施設	中央公民館
	坂祝中学校グラウンド		坂祝幼稚園
	総合運動場テニスコート		坂祝小学校
	中日本自動車短期大学グラウンド※		坂祝中学校
保健・福祉 施設	保健センター	坂祝町キッズドリームワールド	
	坂祝総合福祉会館サンライフさかほぎ	中日本自動車短期大学※	
	坂祝町コミュニティセンター	学校給食センター	
	さわやかグループホームさかほぎ※	レクリエーション施設	町民ふれあいプール
	さわやかナーシングさかほぎ※		

資料：町ウェブサイト他

※は民間施設



図：施設位置図

(6) 防災の状況

本町では、第1次緊急輸送道路として、国道21号、国道21号坂祝バイパス、国道248号バイパスが指定されており、第2次緊急輸送道路として(一)坂祝関線、町道大林線が指定されています。

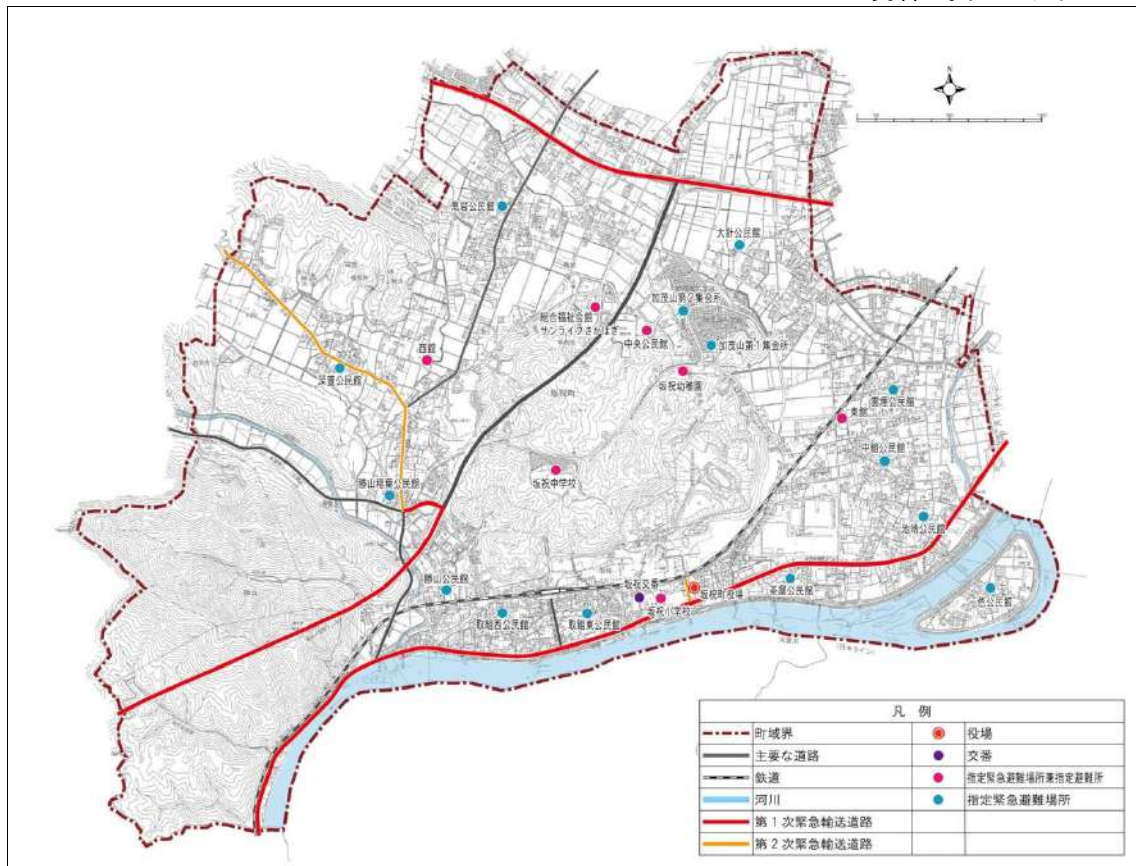
また、災害時の指定緊急避難場所兼指定避難所として7箇所が、指定緊急避難場所として14箇所が指定されています。

- 指定緊急避難場所・・・津波、洪水等による危険が切迫した状況において、住民等が緊急に避難する際の避難先として位置付けるもの
- 指定避難所……………災害の危険性があり避難した住民等を災害の危険性がなくなるまで必要な期間滞在させ、または災害により家に戻れなくなった住民等を一時的に滞在させることを目的とした施設

表：指定緊急避難場所及び指定避難所一覧

名称	指定避難所	指定緊急避難場所	名称	指定避難所	指定緊急避難場所
坂祝小学校	○	○	雲埋公民館		○
坂祝中学校	○	○	大針公民館		○
中央公民館	○	○	加茂山第1集会所		○
総合福祉会館サンライフさかほぎ	○	○	加茂山第2集会所		○
東館	○	○	黒岩公民館		○
坂祝幼稚園	○	○	深萱公民館		○
西館	○	○	勝山公民館		○
一色公民館		○	取組西公民館		○
池端公民館		○	取組東公民館		○
茶屋公民館		○	勝山稲葉公民館		○
中組公民館		○			

資料：町ウェブサイト



図：防災の状況

2-8 上位・関連計画

(1) 美濃加茂都市計画区域の整備、開発及び保全の方針

策定年次	平成23年	目標年次	平成32年
基本理念			
『人と産業、そして豊かな自然が共生する、魅力あふれる都市づくり』			
<ul style="list-style-type: none"> ◆ “住み続けたいくなる” まちづくり ◆ “自然とふれあう” まちづくり ◆ “人とふれあう” まちづくり ◆ “活力のある” まちづくり 			
まちづくりのイメージ			
<ul style="list-style-type: none"> ■ 住宅地区 ゆとりとうるおいのある住宅地の形成 より暮らしやすい住環境への誘導 暮らしやすい農村集落地への誘導 ■ 中心商業地区 圏域の顔となる魅力ある商業地の創出 地域住民の触れ合いの有る商業地の創出 ■ 沿道商業地区 通過交通の活力を地域の活力に結ぶ商業地 ■ 工業地区 産業拠点としての強化を目指した工業地の形成 より効率的な生産環境の形成 ■ 農業地区 都市空間と農業との調和 ■ 自然・レクリエーション地区 自然を活かした交流の推進 			
社会的課題への都市計画としての対応			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境負荷の軽減 ・ 都市防災・防犯性の向上 ・ 都市のバリアフリー化 ・ 良好な景観の保全・形成 ・ 集約型都市構造の実現 			
主要な都市計画の決定の方針			
土地利用	住工の混在地区における工業地と住宅地の共存 木曾川などうるおいと景観性の高い緑地空間の整備 集約型都市構造の実現 用途地域外における広域道路網を活用した都市の活力を生み出す 産業用地の計画的な整備の許容 特定用途制限地域などによる適正な土地利用の誘導		
交通施設	都市内ネットワークの確立による均衡ある発展と連携強化 安全な歩行者環境の確立 利用者の利便性に優れた公共交通体系の確立		
自然的環境の整備又は保全	河川を軸とした緑のネットワーク形成 歴史的資源と一帯となった緑地の保全		

(2) 坂祝町第6次総合計画

策定年次	平成28年3月	目標年次	平成32年
まちの将来像			
『暮らしたい 訪れたい 魅力あふれるまち さかほぎ』			
本町の魅力を活かしながら住民一人ひとりが地域と関わることで、元気で活力のある、住民がいつまでも住み続けたい、多くの人が訪れたいと思えるまちづくりを進める。			
将来人口			
2020年 推計人口 8,023人→目標人口 8,150人			
基本目標			
基本目標1	安全で住みやすいまちをめざして		
基本目標2	豊かな心が育つまちをめざして		
基本目標3	健康長寿のまちをめざして		
基本目標4	活動と交流が盛んなまちをめざして		
基本目標5	誰もが主役のまちをめざして		
重点プロジェクト			
重点プロジェクト1	地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする		
重点プロジェクト2	地方への新しい人の流れをつくる		
重点プロジェクト3	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる		
重点プロジェクト4	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する		
分野別計画（抜粋）			
防災力を高め、災害に強いまちづくりを進めます			
交通マナーの向上に努め、交通事故のないまちづくりを進めます			
対話がはずむ明るい生活環境づくりに努めます			
人々が往来しやすい交通網の整備に努めます			
地区別計画			
酒倉地区	<ul style="list-style-type: none"> ● イベント等の地域活動の見直し・活性化 ● 自治会内の各活動の連携・交流促進 ● 住みよい環境づくり活動の充実 		
大針地区	<ul style="list-style-type: none"> ● 人が集える環境づくり ● 交通環境の変化に対応した防犯・交通安全対策 ● 健康づくりの推進 		
黒岩地区	<ul style="list-style-type: none"> ● 多世代がつながる活動の推進 		
深萱地区	<ul style="list-style-type: none"> ● 防災・減災（いざという時、命を守る） ● 避難行動要支援者の見守り ● 耕作放棄地の活用（農地を守る） ● 世代間交流（コミュニティの形成）の促進 		
勝山地区	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の防災力の強化 ● 多世代住民のつながりづくり ● 地域資源を活かした観光の活性化 		
取組地区	<ul style="list-style-type: none"> ● 人が集える環境づくり ● 防災・防犯、災害時対策への意識の向上 ● 交通安全対策の推進 ● 生活マナーの向上による環境美化 		
加茂山地区	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境美化活動の活性化 ● 交通安全対策の推進 ● 災害時に備えた支え合いの強化 		

(3) 坂祝町都市計画マスタープラン

策定年次	平成22年2月
まちづくりの理念	
健康で笑顔があふれ 自らつくるふれあいのまち 坂祝(さかほぎ)	
まちづくりの目標	
①将来の発展を育む魅力あるまちをつくる ②自然と共生した安全・安心で快適なまちをつくる ③地域コミュニティの強化と協働によりまちをつくる ④地域資源を活かした活力と交流のあるまちをつくる	
将来都市構造	
人が集まる「拠点」、人の動きを支える「軸」、人の生活する場となる「空間」の3つの要素から構成 ■拠点 中心拠点、交流拠点 ■軸 都市軸、景観軸 ■空間 中心ゾーン、沿道利用ゾーン、快適居住ゾーン、自然共生居住ゾーン、産業ゾーン、環境共生産業ゾーン、農業・集落ゾーン、レクリエーションゾーン、森林ゾーン	
分野別まちづくりの方針	
土地利用の方針	「人と自然の調和を目指す計画的な土地利用の推進」 計画的な土地利用を推進し、地域活力の向上とともに、本町の特色である良好な住環境の維持向上を図る。
交通施設の方針	「交流と活力を支える利便性の高い交通体系の確立」 広域幹線道路を補完し、近隣都市や町内の円滑な移動を支える道路網の再構築を行う。また、鉄道やバスなどの公共交通機関の利便性を向上し、誰もが自由に移動できる交通体系の確立を図る。
市街地整備の方針	「町の活力の向上と安心して住み続けられるまちづくり」 土地区画整理事業など計画的な都市基盤整備の実施を地域住民とともに検討する。
都市防災の方針	「災害に強い安全・安心なまちづくり」 住民の生命・財産を守り、誰もが安全・安心して住むことができるまちづくりを積極的に進める。
地域別構想	
北部地域	「交流の盛んな住みよい地域づくり」 北部地域は、交流拠点を中心とした町内の交流と、広域幹線道路を活かした町内外の交流を促進し、交流の盛んな地域づくりを行う。また、良好な住環境を維持向上する。さらに、広域幹線道路沿道の土地利用を計画的に規制・誘導し、住みよい地域づくりを進めていく。
南部地域	「豊かな自然と活力のある魅力的な地域づくり」 南部地域は、豊かな自然環境を活用した自然とのふれあいと、町の中心拠点としての魅力を高め、工場などの雇用の場を確保し、活力のある地域づくりを行う。また、山林や水辺空間、豊かな田園風景と調和した良好な住環境を維持しつつ、都市基盤の強化により快適で便利な魅力ある地域づくりを進める。

(4) 坂祝町人口ビジョン

策定年次	平成27年10月	目標年次	2060年（平成72年）
------	----------	------	--------------

将来の方向性

- 多様な人材が活躍できるまち
- 固有の資源や特徴を活かしたまち
- 様々な次元における連携の強化

人口の将来展望

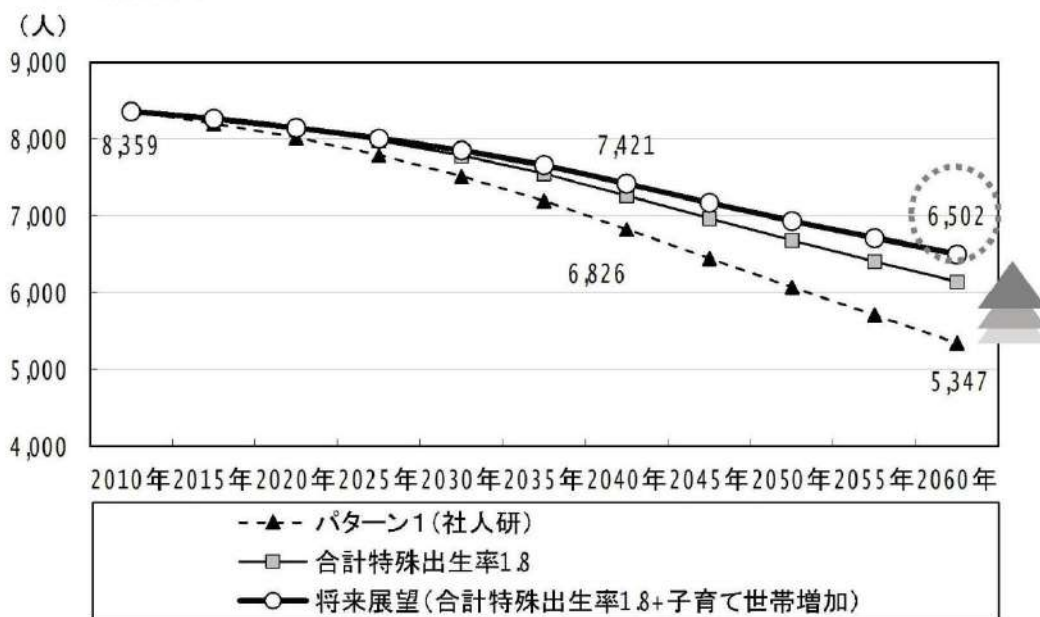
- 出生に関して
本町では全国や県と比較して合計特殊出生率や生産年齢人口の比率が高くなっています。一方で若年男性の8割強が結婚や子供を持つことを希望していますが、男性の有配偶率が低くなっています。若者を中心とした結婚・出産・子育ての希望をかなえられるような出会いの場づくりや子育て支援を充実させることで、岐阜県人口ビジョンで基準となっている「**2030年に合計特殊出生率1.8**」を目指します。

	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
合計特殊出生率	1.79	1.79	1.79	1.80	1.80	1.80	1.80	1.80	1.80	1.80

- 移動に関して
本町の社会動態は近年転入と転出が均衡しています。今後は、国道21号、248号バイパス沿線の整備にあわせて民間による宅地開発などにより、転入超過となることを見込まれます。特に20～30歳代の子育て世帯の移住施策を強化し、**2025年以降5年ごとに10世帯程度が社人研推計に加えて転入する**ことを目指します。

2060年の人口6,500人程度とすることを目指す。

■人口の将来展望



(5) 坂祝町総合戦略

策定年次	平成27年10月	目標年次	2019年（平成31年）
基本目標			
基本目標1 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする			
数値目標：自町内就業率 31.7%→33.3%			
基本目標2 地方への新しいひとの流れをつくる			
数値目標：転入数/転出数割合 90.6%→100.0%			
基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
数値目標：合計特殊出生率 1.59→1.80			
基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する			
数値目標：坂祝町に住み続けたいと思う若者の割合 学生3割、学生以外6割→学生4割、学生以外7割			
施策の方向			
基本目標1			
施策1 まちの産業基盤の強化 <ul style="list-style-type: none"> ●金融機関等と連携した創業支援や事業支援による地域の雇用機会の拡充 ●地場産業の振興・育成 ●外国企業に向けたPR外国企業向け多言語HPの作成 施策2 まちの資源を活かした特色ある産業の形成 <ul style="list-style-type: none"> ●農業振興総合計画調査・策定業務 ●自動車をテーマにした観光ルートの形成 ●友好都市との交流の強化 施策3 多様な人材を活かした雇用の場の構築 <ul style="list-style-type: none"> ●女性の就業・創業支援事業 ●外国人住民に対する就業支援（定住外国人しごとサポート事業） ●母子家庭や生活困窮者等の自立支援、就労相談等の実施 			
基本目標2			
施策1 移住・定住の推進 <ul style="list-style-type: none"> ●移住・定住に関する情報プラットフォームの構築 ●空き家の有効活用 			
基本目標3			
施策1 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援 <ul style="list-style-type: none"> ●町内の資源を活用した結婚につながる出会いの場づくり ●子育て世帯の住まいの支援 施策2 子ども・子育て支援の充実 <ul style="list-style-type: none"> ●「子育て包括支援センター」の整備 ●多言語医療手帳の作成・配付 			
基本目標4			
施策1 交流拠点の形成 <ul style="list-style-type: none"> ●住民交流カフェの立上げ ●親子×高齢者交流の促進 施策2 安心・快適に暮らせる環境の形成 <ul style="list-style-type: none"> ●住み続けたい、住んでみたい（進出したい）町になるための情報発信 ●圏域全体の生活関連機能のサービスの向上 ●交通利便性を活かしたまちづくりの推進 施策3 「ふるさと さかほぎ」づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ●まちの写真集と写真展事業 ●ふるさと同窓会の開催 			

(6) みのかも定住自立圏第2次共生ビジョン(第2回変更)

策定年次	平成28年4月	目標年次	平成31年	
基本方針				
<p>基本方針1 「都市圏とのつながり」により、新たな交流をつくり、定住人口増加へつなげます</p> <p>みのかも定住自立圏域と国道41号で結ばれている名古屋圏をターゲットとして、圏域の特色ある事業を展開し、豊かな自然環境や多様な観光資源、人と人とのつながりなど圏域の魅力に触れる都市圏住民を増やし、定住人口の増加へとつなげていきます。</p> <p>基本方針2 民間の力による「新しい公共」を実現し、いきいきと暮らせる地域を創造します</p> <p>NPOや企業、民間団体が身近な課題に対して主体的に取り組むことで、これまで行政が担ってきた公共サービスの役割分担を見直し、圏域の課題を地域の力で解決しながら、地域に対して誇りや愛着を持てる仕組みを作ります。</p> <p>基本方針3 中心市をはじめ近隣町村からの提案事業に取り組みます</p> <p>中心市が主体となって取り組む事業だけではなく、圏域を構成する近隣町村も具体的取組事業を提案し積極的に事業を推進していくことで、それぞれの地域がもつ強みを活かし、弱みを補完し合いながら、圏域全体を活性化させます。</p>				
将来像のキャッチフレーズ				
<p style="text-align: center;">ここに住むしあわせ。HOTエリアみのかも。</p> <p>経済やまちづくりが活発で、「熱く輝く」地域であり、安心安全な「ほっと」できるまちを目指します。</p>				
将来像の実現に向けた具体的取組(重点事業)				
	事業名	事業概要	都市圏とのつながり	新しい公共
福祉	1 みんなで子育て応援事業	子育てに関する総合的支援サービスを実施し、そのための人材育成、情報発信を連携して行う。		○
教育	2 里山アートプロジェクト事業	日本昭和村を舞台に、巨大稲わらアート、学生演劇、古典芸能事業、地域関連事業を開催し、都市圏と文化交流を図る。	○	○
	3 「織田信長の東美濃攻略」を活用した歴史PRマンガ作成事業	身近な史跡を舞台としたマンガを作成し、郷土の魅力ある歴史を地域や都市圏に発信する。	○	○
	4 ポート王国プロジェクト事業	ポートアカデミーを設立して、底辺拡大や技術向上を図り、ポーツスポーツによるまちづくりを進める。	○	○
	5 野外フェスティバルからはじまるあたらしい地域コミュニティ事業	大規模な野外音楽フェスティバルを両地域で定期的に行い、都市圏との新たなつながり、交流を創造する。	○	○
産業振興	6 みのかも魅力発信!名古屋交流拠点事業	名古屋栄地区をイベント拠点として、都市圏へ地域の魅力を発信し、PR活動を行う。	○	
	7 里山再生プロジェクト事業	侵入竹林を伐採、広葉樹を植樹するなど、里山林を整備し、人と自然の共存を学ぶ交流の場とする。	○	○
	8 Kisoジオパークにぎわい創出事業	雄大な木曾川と歴史ある中山道をフィールドとしてにぎわいのあるまちづくりを行う。	○	○
	9 おんさいEXPO事業	鳴子踊りの祭典を開催し、交流の輪を広げ、地域や都市圏に「まちの元気」を発信する。	○	○
	10 名古屋市民をみのかも定住自立圏域へ招くツアー事業	名古屋市出発の観光・体験・散策ツアーを実施し、地域の魅力をPRする。	○	
	11 R41カード事業	名古屋圏域の住民を顧客として、利用特典カードを発行し、地域の観光産業活性化を図る。	○	
環境	12 生物多様性地域連携促進事業	圏域の自然環境を保全するため、環境フェアの共同開催や圏域内の自然環境調査を行う。	○	○
公共ネットワーク	13 地域情報放送事業	身近な情報の共有化を図るため、ケーブルテレビ「CCNet」やスマホなどでも聞ける「FMらら」で地域情報を発信する。		○
共同化	14 地域づくり研究連携事業	レッキーマラソンコース沿いの環境整備、でか金による地域づくり、龍神さんが棲む箱庭のまちづくりの事業を実施し、特色ある地域住民活動のあり方を研究する。	○	○
				小計

第3章 道路整備の問題と課題

(1) 道路ネットワークに関する課題

- ・ 周辺市町村との連携強化を図るため、幹線道路ネットワークの整備を促進する必要があります。
- ・ 国道21号坂祝バイパスの開通に伴い、坂祝バイパスの機能を活かすためのアクセス道路の整備が必要です。
- ・ 古墳や猿啄城跡、観世音菩薩など、数多くの歴史資源がまちに存在し、公園や緑地など豊かな自然環境、グラウンドや広場などの運動施設が整備されていることから、これらの施設の利用を促進するためのアクセス道路の整備が必要です。

(2) まちづくりに関する課題

- ・ 本町では、製造業をはじめとする工場が多く立地しており、中には住宅地の中にあるなど用途の混在が見られるため、騒音や交通安全などの対策や新たな幹線道路の整備に伴う用途地域外の無秩序な開発の防止が必要です。
- ・ JR坂祝駅周辺整備において、国道21号からのアクセスが悪く、狭隘なところ、歩道が設置されていないところの未整備区間の整備が必要です。

(3) 生活環境に関する課題

- ・ 高齢者、障がい者等に対応し、誰もが円滑に移動出来るようバリアフリー・ユニバーサルデザインによる道路の整備が必要です。
- ・ 誰もが安心して快適に暮らせる交通環境を進めるため、歩行者や自転車が安全に通行できる道路の整備が必要です。
- ・ 近年多発している局地的な豪雨災害や、発生が危惧されている大規模地震など自然災害時等における輸送手段を確保できる道路の整備が必要です。

(4) 将来都市像を達成するための課題

- ・ 国道21号坂祝バイパスや国道248号バイパスの整備の進展に伴い、円滑な交通処理を行うための道路網を再検討し、また、町内の県道・町道についても、拡幅や歩道設置等、系統立った道路の整備が必要です。
- ・ 自然環境保全に対する意識が高まっており、自家用車から公共交通機関・徒歩や自転車への転換が必要です。魅力的で利便性の高い市街地の形成を進めるため、町内を容易に移動できるようなコミュニティバスの運行など、公共交通の利便性の向上が必要です。
- ・ 土地利用の混在化を解消し、道路や公共施設の緑化、民有地の生垣緑化の推進、工場周辺の緑化などにより、緑豊かな景観の形成を図るため、都市景観向上に資する道路の整備が必要です。

第4章 幹線道路整備計画

4-1 基本方針の設定

これまでに整理した、本町の都市交通の現況からの課題および将来都市像からの課題から、本町の幹線道路網整備の基本方針を以下のとおり設定します。

交通機能の円滑な処理を重視した幹線道路網の形成

上記の基本方針を実現するため、以下の機能を有する幹線道路の整備を進めます。

■ 1 系統立った道路

本町内の県道や町道の幅員狭隘な道路や利便性に欠けている道路の整備により、系統立った幹線道路網の形成を目指します。

■ 2 施設利用を促進する道路

主要施設に連絡する道路の整備により、観光・レクリエーション地（地域間の交流）を促進する幹線道路網の形成を目指します。

■ 3 渋滞のない道路

渋滞が見られる道路の代替路線としての機能を有する道路の整備により、渋滞のない幹線道路網の形成を目指します。

■ 4 公共交通機関の利用を促進する道路

公共交通の利便性を向上させる駅へのアクセス道路などの整備により、公共交通機関の利用を促進する幹線道路網の形成を目指します。

■ 5 安心で質の高い道路

災害時・緊急時等における輸送手段を確保する道路の整備により、安心で質の高い幹線道路網の形成を目指します。

■ 6 安全で快適な道路

歩行者や自転車の利用が多い道路の整備や、産業系施設周辺の大型車の通行が多い道路など交通事故の防止対策が必要な道路の整備により、安全で快適な幹線道路網の形成を目指します。

4-2 将来幹線道路網の設定

本町の将来幹線道路網として、自動車の円滑な処理を重視した幹線道路網を設定します。

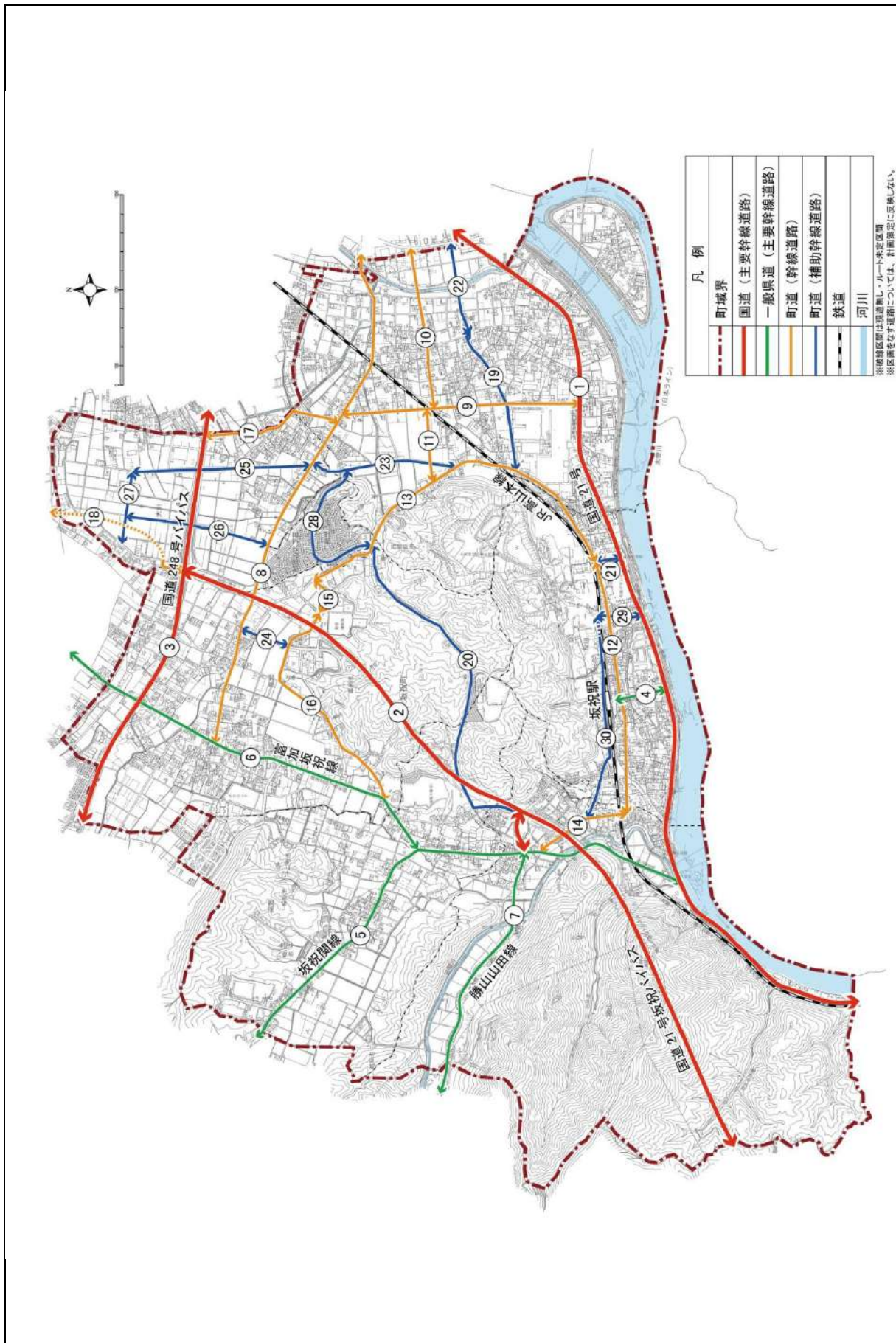
幹線道路については、道路の段階構成を考慮し、主要幹線道路、幹線道路、補助幹線道路に区分して設定します。

将来幹線道路網は、現在の国道・県道・都市計画道路を中心に、適切な配置となるよう適宜主要な町道を配置し設定します。

表: 将来幹線道路網

種別	番号	路線名	延長 (km)	備考
主要幹線道路	1	一般国道 21号	4.89	
	2	一般国道 21号坂祝バイパス	4.37	
	3	一般国道 248号バイパス	2.19	
	4	一般県道 坂祝停車場線	0.24	
	5	一般県道 坂祝・関線	2.72	
	6	一般県道 富加・坂祝線	1.91	
	7	一般県道 勝山・山田線	1.22	
幹線道路	8	町道 酒倉～黒岩線	2.67	
	9	町道 北高見～上寿後線	1.23	
	10	町道 深田～大門線	1.75	
	11	町道 大坪～山本線	0.37	
	12	町道 取組～勝山線	1.35	
	13	町道 取組～黒岩線	1.94	一部区間
	14	町道 勝山27号線	0.57	一部区間
	15	町道 黒岩2・3・5号線	0.50	一部区間(2・5号線)
	16	町道 黒岩5号線	1.03	一部区間(5号線)
	17	町道 大針1号線	0.75	一部区間
	18	町道 55号・新規路線	0.79	今回追加路線 線形未定
補助幹線道路	19	町道 中組～茶屋線	0.76	
	20	町道 深萱～酒倉・深萱～取組線	1.62	一部区間
	21	町道 大林線	0.15	
	22	町道 中組～深田線	0.46	
	23	町道 酒倉～大針線	0.75	
	24	町道 黒岩6号線	0.20	一部区間
	25	町道 大針3号線	0.93	一部区間
	26	町道 大針7号線	0.75	一部区間
	27	町道 大針17号線	0.39	一部区間
	28	町道 加茂山1号線	0.84	
	29	町道 寺東線	0.21	今回追加路線
	30	町道 深萱～取組・取組15・19号線	0.74	今回追加路線 一部新規

※延長は図上計測



図：将来幹線道路網

4-3 将来交通量推計

将来幹線道路網について、設定の妥当性を検証するため、交通量推計を行います。

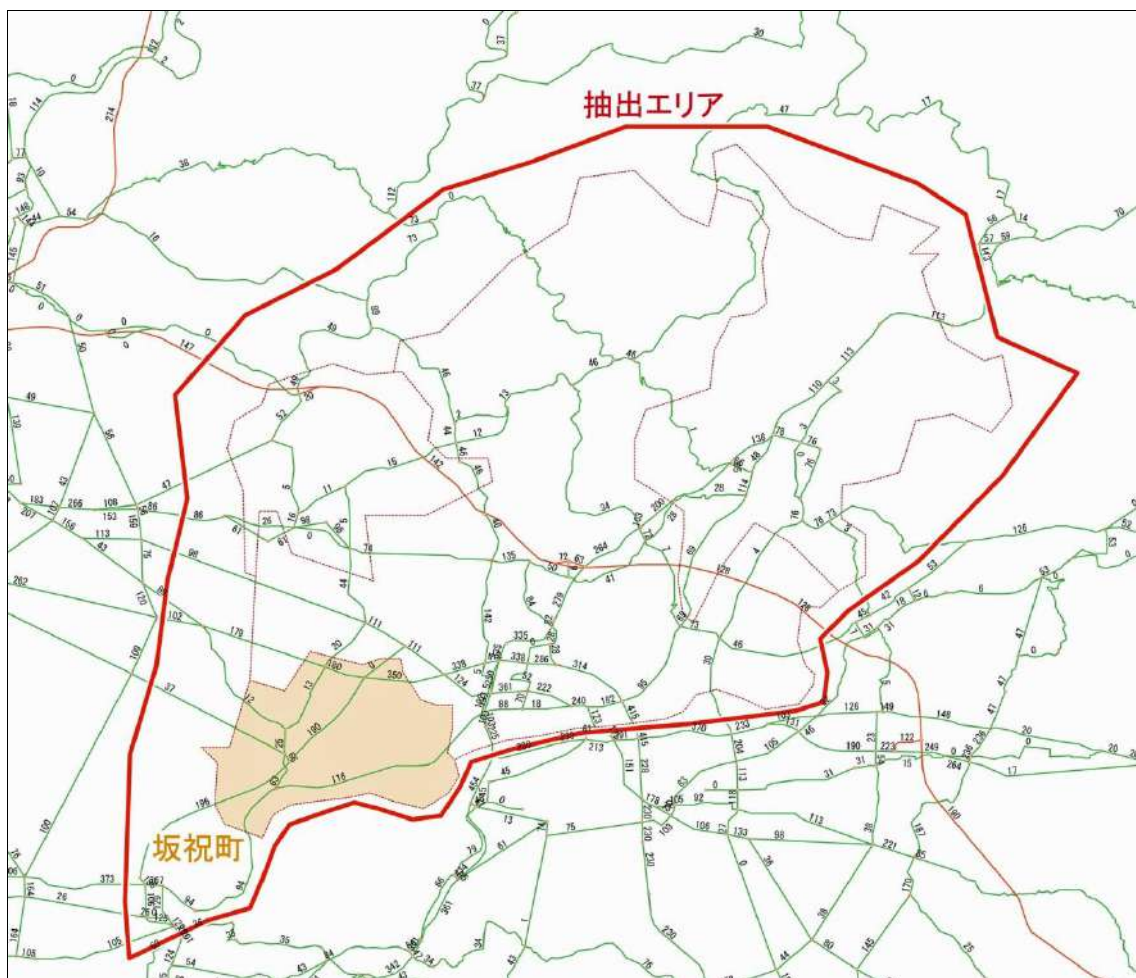
(1) 推計手法

交通量推計を行うにあたってその基となるデータは、前回計画策定時から上位推計データ（道路交通センサスベース）が変更ないため、前回行った交通量推計データをベースとし、今回の将来幹線道路網を反映したリンクデータと、最新の地域別人口を反映した OD データで再計算しました。

なお、前回計画での推計データは、県が行った平成 17 年道路交通センサスの将来（平成 42 年）の交通量推計データとしています。なお、県の推計における道路網は岐阜県全域の国道及び県道を中心としたものであり、ゾーンも本町は1つのゾーンとなっています。そのため、このデータを元に本町および周辺のエリアを抽出した上で、本町の将来幹線道路網の反映と町内ゾーンの細分化を行っています。

表：交通量推計の概要

上位推計データ	平成17年道路交通センサスベース平成42年推計(岐阜県)
交通量配分手法	OD分割・転換率併用配分法
OD分割回数	5分割
分割比率	30%・30%・20%・10%・10%



図：県推計における将来道路網及び今回の抽出エリア(将来：H42)

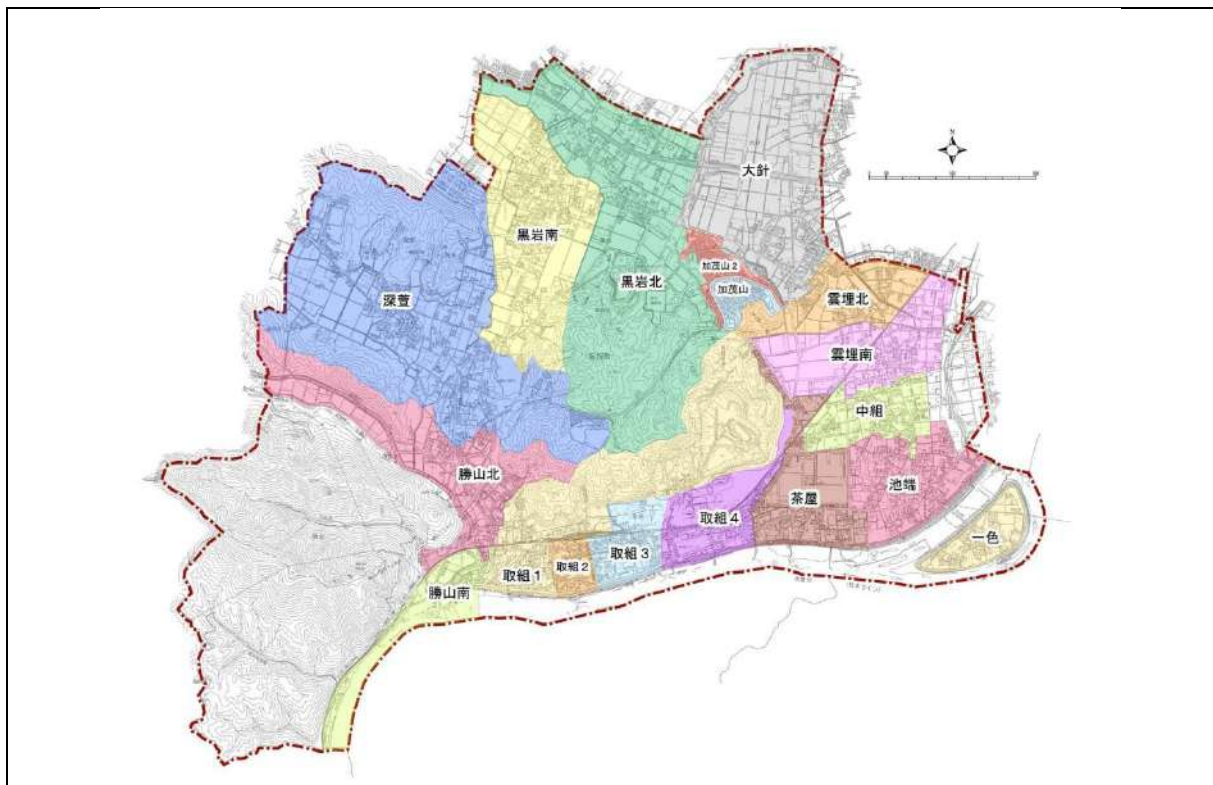
(2) ゾーン分割

県推計では本町は1つのゾーンに区分されていますが、今回より詳細な自動車交通の動きを把握するため、自治会を基本としたゾーンに分割します。

分割した各ゾーンの交通量は、もとなる県推計ゾーンの交通量をゾーン人口割合（住民基本台帳 平成平成28年7月時点）で将来の交通量をそれぞれ案分します。なお、ゾーン茶屋内には、大規模な工場あり、人口は少ないものの発生集中交通量が多いことより、従業員数を参考に交通量の先取りを行っています。

表：ゾーンの分割比率

県推計			ゾーン名	本計画推計			
ゾーンコード		Bゾーン		ゾーン名	ゾーン人口	ゾーン人口割合	ゾーン分割割合
都道府県	市区町村						
21	501	0	加茂郡坂祝町	加茂山	1,082	13.2%	12.7%
				黒岩南	898	11.0%	10.6%
				黒岩北	570	7.0%	6.7%
				取組1	357	4.4%	4.2%
				取組2	214	2.6%	2.5%
				取組3	392	4.8%	4.6%
				取組4	227	2.8%	2.7%
				池端	522	6.4%	6.1%
				中組	498	6.1%	5.9%
				茶屋	510	6.2%	6.0%
				雲埋北	643	7.8%	7.6%
				一色	125	1.5%	1.5%
				勝山北	419	5.1%	4.9%
				勝山南	107	1.3%	1.3%
				深萱	543	6.6%	6.4%
				大針	504	6.2%	5.9%
				雲埋南	581	7.1%	6.8%



図：ゾーンの分割

(3) QV式

QV式とは、交通量 (Quantity) と速度 (Velocity) との関係を示したものであり、交通量の増加によって走行速度が変化する状況を定式化したものです。

一般に交通量推計で用いるQV式は、道路の構造規格、沿道状況、車線数などの道路の条件によって区分しており、本町における推計では、道路種別、沿道状況、車線数毎に分類した県の推計データに基づき設定しています。

表:QV式の分類(県推計データ)

指標	区分
道路種別	高規格幹線道路、地域高規格道路、国道バイパス、直轄国道、補助国道、主要地方道、一般県道、幹線町道
延長状況	区分1:平地部、山地部、都市部(高規格幹線道路、地域高規格道路) 区分2:DID、市街地、平地、山地(一般道)
車線数	1車線、2車線、(3車線)、4車線、6車線、8車線、10車線

- ※1 高規格幹線道路は、道路構造令における種級区分で各路線を分類。
- ※2 国道バイパスは、沿道状況をアクセスコントロールの有無で区分。
- ※3 車線数の3車線は、名古屋高速都心環状線のみ適用。

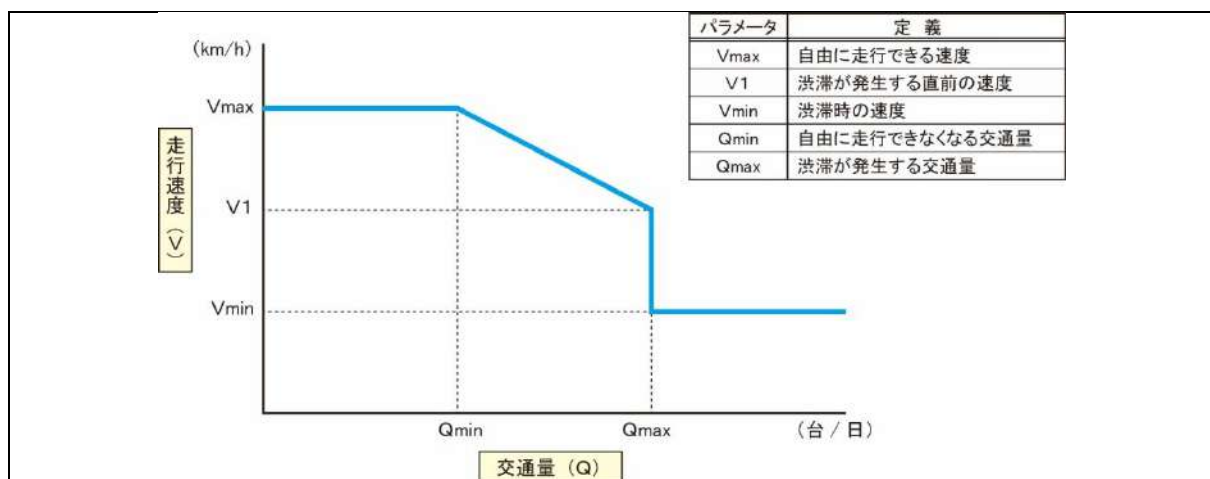
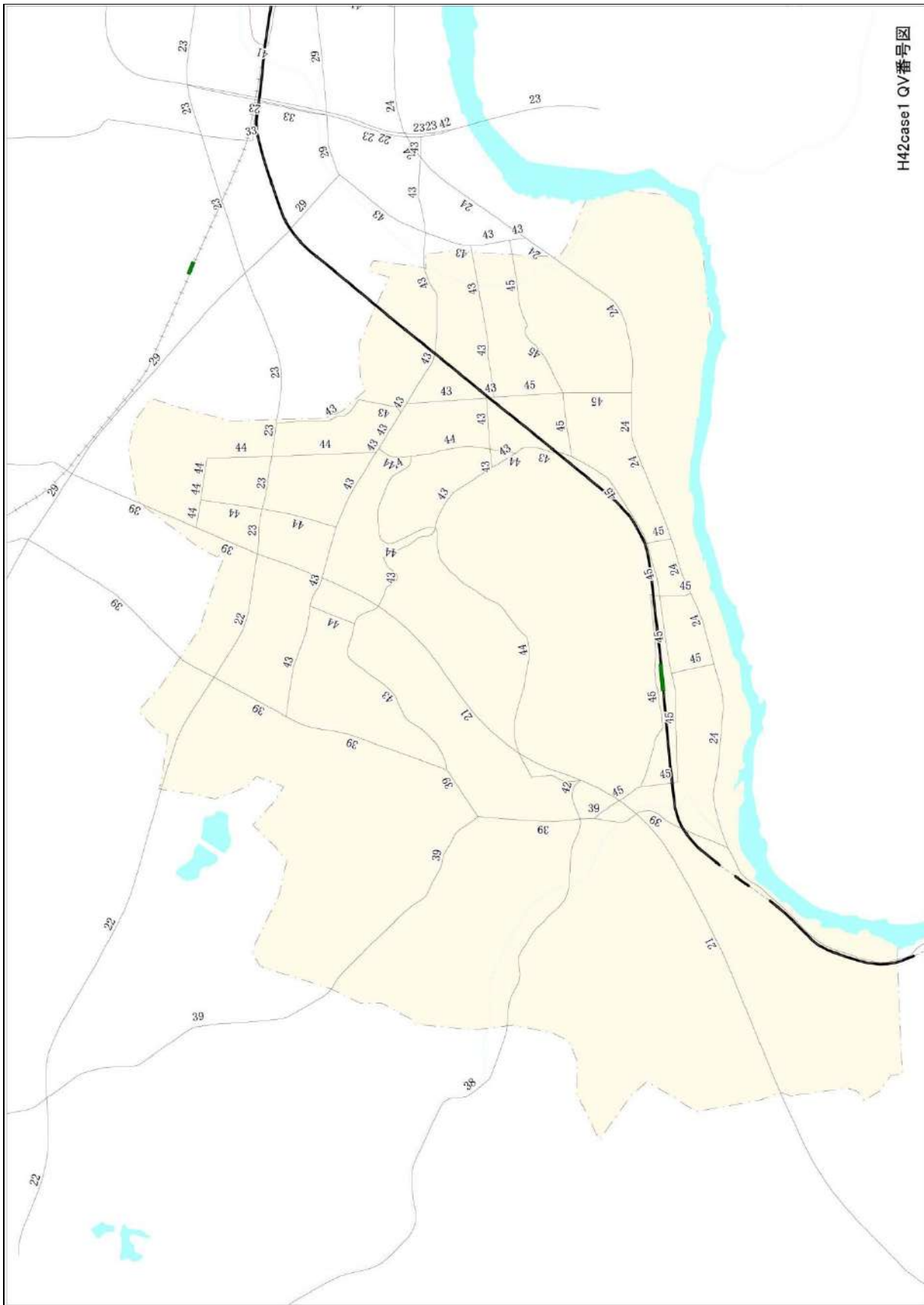


図:QV式



図：QV式設定図

表:QV式一覧(県推計)

道路種別	種	級	地形	コード	車線	Vmax	V1	Vmin	Qmin	Qmax
高規格幹線道路 (国土開発幹線自動車道及び一般国道の自動車専用道路)	1	1	平地部	1	6	100	50	10	0	96000
				2	4	100	50	10	0	64000
	1	2	平地部	3	6	100	50	10	0	96000
				4	6	100	50	10	0	72000
				5	4	100	50	10	0	64000
				6	4	100	50	10	0	48000
				7	2	80	40	10	0	18700
	1	3	平地部	8	6	80	40	10	0	88000
				9	6	80	40	10	0	64000
				10	4	80	40	10	0	58700
				11	4	80	40	10	0	42700
				12	2	80	40	10	0	18700
	1	4	山地部	13	2	80	40	10	0	13300
				14	4	60	30	10	0	58700
				15	4	60	30	10	0	42700
				16	2	60	30	10	0	17300
	2	1	都市部	17	2	60	30	10	0	12000
				18	6	80	40	10	60000	120000
	2	2	都市部	19	4	80	40	10	40000	80000
				20	6	60	30	10	56700	113300
				21	4	60	30	10	37800	75600
地域高規格道路 (都市圏自動車専用道路)	1	2	平地部	22	4	100	50	10	0	64000
				23	4	100	50	10	0	48000
				24	2	80	40	10	0	18700
	1	3	平地部	25	6	80	40	10	0	88000
				26	6	80	40	10	0	64000
				27	4	80	40	10	0	58700
				28	4	80	40	10	0	42700
				29	2	80	40	10	0	18700
	1	4	山地部	30	2	80	40	10	0	13300
				31	4	60	30	10	0	58700
				32	4	60	30	10	0	42700
				33	2	60	30	10	0	17300
	2	1	都市部	34	2	60	30	10	0	12000
				35	6	80	40	10	60000	120000
2	2	都市部	36	4	80	40	10	40000	80000	
			37	6	60	30	10	56700	113300	
			38	4	60	30	10	37800	75600	
地域高規格道路 (一般)	1	3	平地部	39	6	60	30	10	0	88000
				40	6	60	30	10	0	64000
				41	4	60	30	10	0	58700
				42	4	60	30	10	0	42700
				43	2	60	30	10	0	18700
				44	2	60	30	10	0	13300
	3	1	平地部	45	6	60	30	10	38800	77600
				46	4	60	30	10	25900	51800
	3	2	山地部	47	4	50	25	10	21200	42400
				48	4	50	25	10	16500	33000
				49	2	50	25	10	5300	10600
4	1	都市部	50	4	50	25	10	26700	53400	
			51	2	50	25	10	6700	13400	

道路種別(沿道状況)		コード	車線	Vmax	VI	Vmin	Qmin	Qmax
国道バイパス	アクセスコントロール有	100	6	60	30	10	40000	80000
		101	4	60	30	10	25000	50000
		102	2	50	25	10	10000	20000
	アクセスコントロール無	103	6	50	25	10	34000	68000
		104	4	50	25	10	19500	39000
		105	2	45	25	10	9000	18000
直轄国道	DID+市街地	106	10	35	20	10	35000	70000
		107	8	35	20	10	32000	64000
		108	6	35	20	10	26500	53000
		109	4	35	20	10	16500	33000
		110	2	30	15	10	9000	18000
	平地+山地	111	6	40	20	10	34000	68000
	平地	112	4	40	20	10	19500	39000
	山地	113	4	40	20	10	15500	31000
	平地	114	2	40	20	10	9000	18000
山地	115	2	40	20	10	5000	10000	
補助国道	DID+市街地	116	10	35	20	10	35000	70000
		117	8	35	20	10	32000	64000
		118	6	35	20	10	26500	53000
		119	4	35	20	10	16500	33000
		120	2	30	15	10	9000	18000
	平地+山地	121	6	35	20	10	25500	51000
	平地	122	4	35	20	10	15000	30000
	山地	123	4	35	20	10	12000	24000
	平地	124	2	35	20	10	6000	12000
	山地	125	2	35	20	10	3500	7000
	DID	126	1	20	10	5	500	1000
	市街地+平地	127	1	20	10	5	1000	2000
山地	128	1	20	10	5	1500	3000	
主要地方道 一般県道	DID+市街地	129	10	25	15	5	34000	68000
		130	8	25	15	5	32500	65000
		131	6	25	15	5	19500	39000
		132	4	25	15	5	12000	24000
		133	2	25	15	5	6000	12000
	平地+山地	134	6	35	20	10	16000	32000
	平地	135	4	35	20	10	12000	24000
	山地	136	4	35	20	10	10000	20000
	平地	137	2	35	20	10	5000	10000
	山地	138	2	35	20	10	3500	7000
	DID	139	1	20	10	5	500	1000
	市街地+平地	140	1	20	10	5	1000	2000
山地	141	1	20	10	5	1500	3000	
一般県道 幹線町道	DID+市街地	142	10	25	15	5	34000	68000
		143	8	25	15	5	32500	65000
		144	6	25	15	5	19500	39000
		145	4	25	15	5	12000	24000
		146	2	25	15	5	6000	12000
	平地+山地	147	6	30	15	5	16000	32000
		148	4	30	15	5	10500	21000
		149	2	30	15	5	3500	7000
	DID	150	1	20	10	5	500	1000
	市街地+平地	151	1	20	10	5	1000	2000
山地	152	1	20	10	5	1500	3000	
高速アクセス	155	2	30	15	5	15000	30000	
都市内高速道路(一方通行区間)	156	3	60	30	10	28300	56600	
発生点ダミーリンク	998	2	1	1	1	0	20000	

表：QV式一覧(今回推計)

QVコード	Vmax	V1	Vmin	Qmin	Qmax
21	60	30	10	0	18700
22	50	25	10	10000	20000
23	50	25	10	19500	39000
24	30	15	10	9000	18000
25	40	20	10	19500	39000
26	40	20	10	9000	18000
27	40	20	10	5000	10000
28	30	15	10	9000	18000
29	35	20	10	6000	12000
30	35	20	10	3500	7000
31	20	10	5	1000	2000
32	35	20	10	12000	24000
33	35	20	10	5000	10000
34	35	20	10	3500	7000
35	20	10	5	1500	3000
36	25	15	5	12000	24000
37	25	15	5	6000	12000
38	30	15	5	10500	21000
39	30	15	5	3500	7000
40	20	10	5	1000	2000
41	20	10	5	1500	3000
42	30	15	5	15000	30000
43	30	10	5	2000	4000
44	20	10	5	2000	4000
45	20	10	5	2000	4000
46	20	10	5	1500	3000

(4) 推計結果

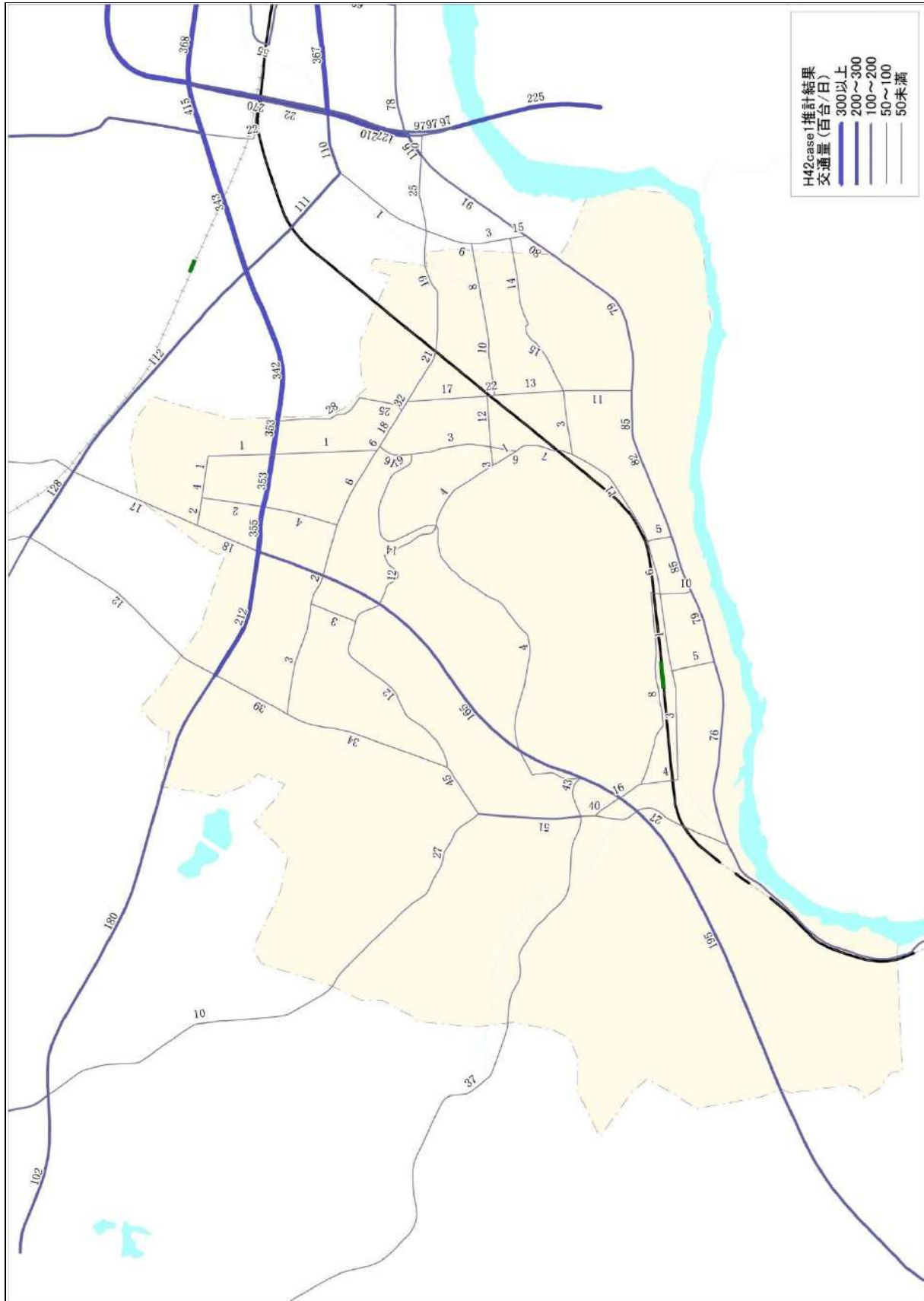
平成 42 年における道路網での交通量推計結果ですが、次頁のとおり、幹線道路網の充実により、一部の国道・県道で混雑は見られるものの、町内の町道の混雑度はほとんどが 1.0 未満になり、混雑が緩和されます。

しかしながら、国道 21 号坂祝バイパスの開通にともない、国道 21 号坂祝バイパス及びインターチェンジ付近での混雑が見られるため、主要幹線道路としての機能を果たし、より円滑な交通処理のため、対策が必要と考えられます。

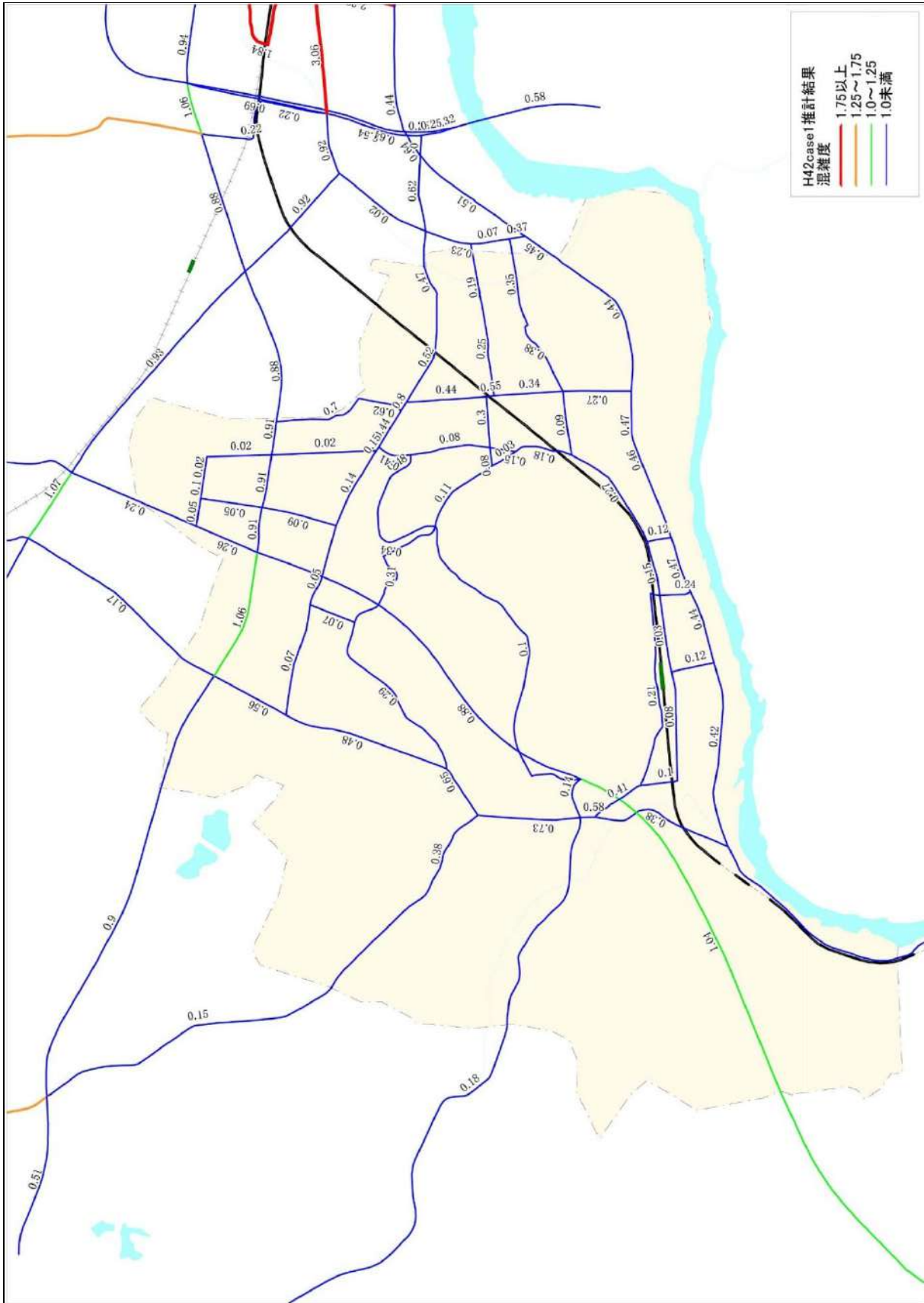
表：混雑度と交通状況

混雑度	交通状況の推定
1.0未満	飽和状態0時間、 $Q/C < 1.0$ 昼間12時間を通して、道路が混雑することなく、円滑に走行できる。渋滞やそれに伴う極端な遅れはほとんどない。
1.0～1.25	飽和状態はほとんどの区間で1～2時間以下、 Q/C はほとんどの区間で1.0以下、昼間12時間のうち道路が混雑する可能性のある時間帯が1～2時間(ピーク時間)ある。何時間も混雑が連続するという可能性は非常に小さい。
1.25～1.75	飽和時間は0～12時間、 $Q/C > 1.0$ の時間が10～15% ピーク時間はもとより、ピーク時間を中心として混雑する時間帯が加速度的に増加する可能性の高い状態。ピーク時のみの混雑から日中の連続的混雑への過度状態と考えられる。
1.75以上	飽和時間0時間がほとんどなくなる。 $Q/C > 1$ の時間が50%を超える。慢性的混雑状態を呈する。

※Q:時間交通量、C:可能交通容量(道路の交通をさばく能力)、飽和時間:時間ごとの交通量を交通容量で除いた値が1.0を超過する時間。「道路の交通容量」((社)日本道路協会)より掲載。



図：平成42年将来交通量の推計結果



図：平成42年将来交通量の推計結果(混雑度)

4-4 整備優先性の検討

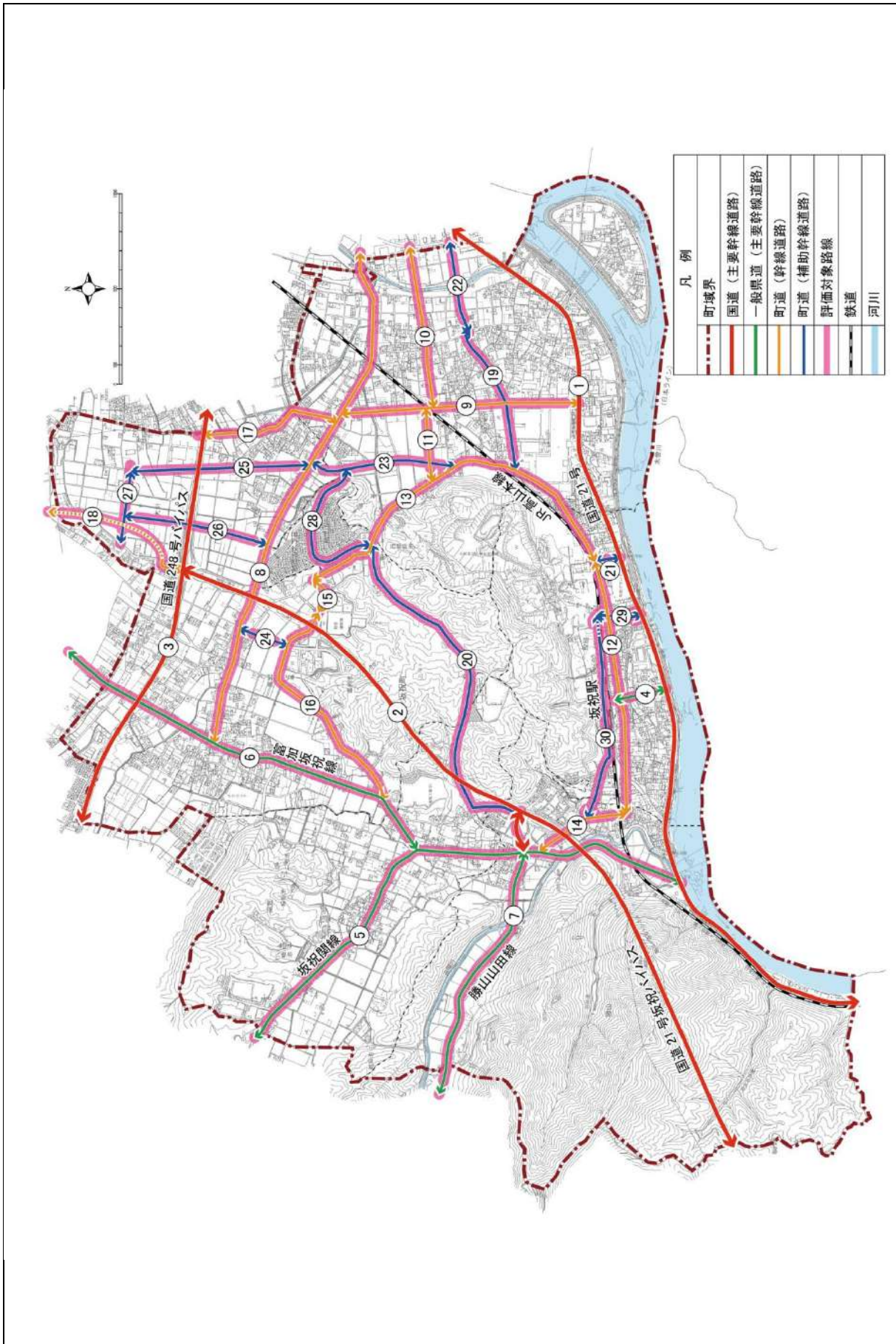
(1) 評価対象路線の設定

本町における今後の道路整備は、整備の必要性・緊急性などを客観的で明確な基準に基づき評価し、優先順位を設定した上で整備する必要があります。

本町において、将来道路網で設定した幹線道路についての機能を評価し、道路の位置づけを明確にしたうえで、将来幹線道路網で設定した一般国道以外の幹線道路全てを評価し、各路線の整備方針について検討します。

表: 評価対象路線の設定

種別	番号	路線名	延長 (km)	平均幅員		歩道 設置 状況	評価
				5.5m 以上	5.5m 未満		
主要幹線道路	1	一般国道 21号	4.89	8.5m		有り	評価 対象 外
	2	一般国道 21号坂祝バイパス	4.37	19.0m		一部有り	
	3	一般国道 248号バイパス	2.19	18.0m		有り	
	4	一般県道 坂祝停車場線	0.24		4.2m	無し	
	5	一般県道 坂祝・関線	2.72	5.5m		一部有り	
	6	一般県道 富加・坂祝線	1.91	5.5m		一部有り	
	7	一般県道 勝山・山田線	1.22	5.5m		有り	
幹線道路	8	町道 酒倉～黒岩線	2.67	5.8m		一部有り	評価 対象
	9	町道 北高見～上寿後線	1.23	5.5m		無し	
	10	町道 深田～大門線	1.75		4.9m	有り	
	11	町道 大坪～山本線	0.37	5.5m		一部有り	
	12	町道 取組～勝山線	1.35		5.0m	一部有り	
	13	町道 取組～黒岩線	1.94		5.3m	有り	
	14	町道 勝山27号線	0.57		4.6m	無し	
	15	町道 黒岩2・3・5号線	0.50	7.5m		一部有り	
	16	町道 黒岩5号線	1.03	5.7m		一部有り	
	17	町道 大針1号線	0.75	5.9m		一部有り	
	18	町道 55号・新規路線	0.79		4.4m	無し	
補助幹線道路	19	町道 中組～茶屋線	0.76		4.6m	一部有り	評価 対象
	20	町道 深萱～酒倉・深萱～取組線	1.62		4.5m	有り	
	21	町道 大林線	0.15		5.3m	有り	
	22	町道 中組～深田線	0.46		4.5m	無し	
	23	町道 酒倉～大針線	0.75	5.5m		有り	
	24	町道 黒岩6号線	0.20	6.0m		有り	
	25	町道 大針3号線	0.93		4.9m	一部有り	
	26	町道 大針7号線	0.75		5.1m	一部有り	
	27	町道 大針17号線	0.39		3.9m	無し	
	28	町道 加茂山1号線	0.84	6.4m		有り	
	29	町道 寺東線	0.21		4.0m	無し	
	30	町道 深萱～取組・取組15・19号線	0.91		3.4m	無し	



図：評価対象路線

(2) 評価項目の設定

評価項目は、本町の現況道路網における問題・課題に対するものとして設定します。

評価項目は道路が有する機能からの「必要性」と道路整備の「緊急性」の2つの視点から、以下の通り設定します。

表: 評価項目一覧

評価項目		評価内容	
必要性	交通機能	道路の種別	道路の段階構成を考慮して設定した「主要幹線道路」「幹線道路」「補助幹線道路」に分類し、評価します。
		渋滞のない道路	渋滞が見られる道路の代替路線としての機能を有する道路を評価します。
	まちづくり機能	公共交通機関の利用を促進する道路	公共交通の利便性を向上させる駅へのアクセス道路、公共交通機関の利用を促進する道路を評価します。
		施設利用を促進する道路	主要施設に連絡する道路、観光・レクリエーション地(地域間の交流)を促進する道路を評価します。
	生活環境機能	安心で質の高い道路	災害時・緊急時等における輸送手段を確保する道路、安心で質の高い道路を評価します。
		安全で快適な道路	歩行者や自転車の利用が多く(通学路等)、交通事故防止対策機能(交通事故・人身事故多発場所の検証)を必要とする道路、安全で快適な道路を評価します。
緊急性	平均幅員状況	車道の平均幅員「5.5m以上」「5.5m未満」に分けて評価します。5.5m以上は、路上駐車がある場合でも、はしご車が横を通り抜けることが可能な道路で整備の緊急性は低くなります。5.5m未満は、路上駐車がある場合は、はしご車が横を通り抜けることが困難であることから緊急性は高くなります。	
	歩道設置状況	歩道「有り(全部)」「有り(一部)」「無し」に分けて評価します。歩道有りは、町民の安全性が確保されている道路で整備の緊急性は低くなります。歩道無しは、町民の安全性が確保されていないことから緊急性は高くなります。 【歩道の有無の考え方】 ○歩道有り(全区間): 路線区間全てに歩道有り ○歩道あり(一部): 路線区間内の一部に歩道有り ○歩道無し: 路線区間全てに歩道が無い	

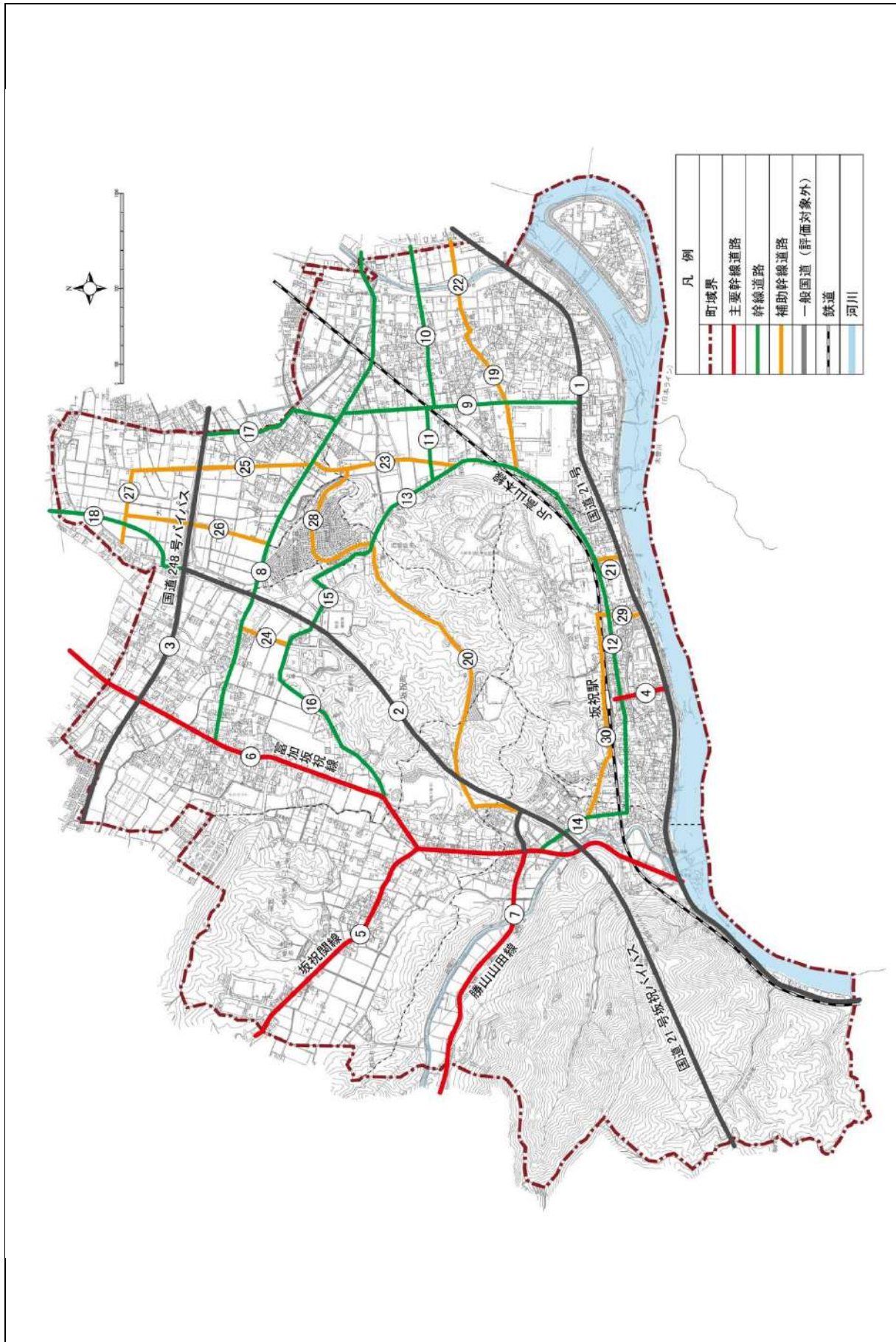
(3) 路線の評価

1) 道路の種別

道路の段階構成を考慮して設定した「主要幹線道路」「幹線道路」「補助幹線道路」に分類し、下記の通り評価します。

表:道路の種別の評価結果一覧

番号	路線名	延長 (km)	道路の種別
4	一般県道 坂祝停車場線	0.24	主要幹線道路
5	一般県道 坂祝・関線	2.72	主要幹線道路
6	一般県道 富加・坂祝線	1.91	主要幹線道路
7	一般県道 勝山・山田線	1.22	主要幹線道路
8	町道 酒倉～黒岩線	2.67	幹線道路
9	町道 北高見～上寿後線	1.23	幹線道路
10	町道 深田～大門線	1.75	幹線道路
11	町道 大坪～山本線	0.37	幹線道路
12	町道 取組～勝山線	1.35	幹線道路
13	町道 取組～黒岩線	1.94	幹線道路
14	町道 勝山27号線	0.57	幹線道路
15	町道 黒岩2・3・5号線	0.50	幹線道路
16	町道 黒岩5号線	1.03	幹線道路
17	町道 大針1号線	0.75	幹線道路
18	町道 55号・新規路線	0.79	幹線道路
19	町道 中組～茶屋線	0.76	補助幹線道路
20	町道 深萱～酒倉・深萱～取組線	1.62	補助幹線道路
21	町道 大林線	0.15	補助幹線道路
22	町道 中組～深田線	0.46	補助幹線道路
23	町道 酒倉～大針線	0.75	補助幹線道路
24	町道 黒岩6号線	0.20	補助幹線道路
25	町道 大針3号線	0.93	補助幹線道路
26	町道 大針7号線	0.75	補助幹線道路
27	町道 大針17号線	0.39	補助幹線道路
28	町道 加茂山1号線	0.84	補助幹線道路
29	町道 寺東線	0.21	補助幹線道路
30	町道 深萱～取組・取組15・19号線	0.91	補助幹線道路



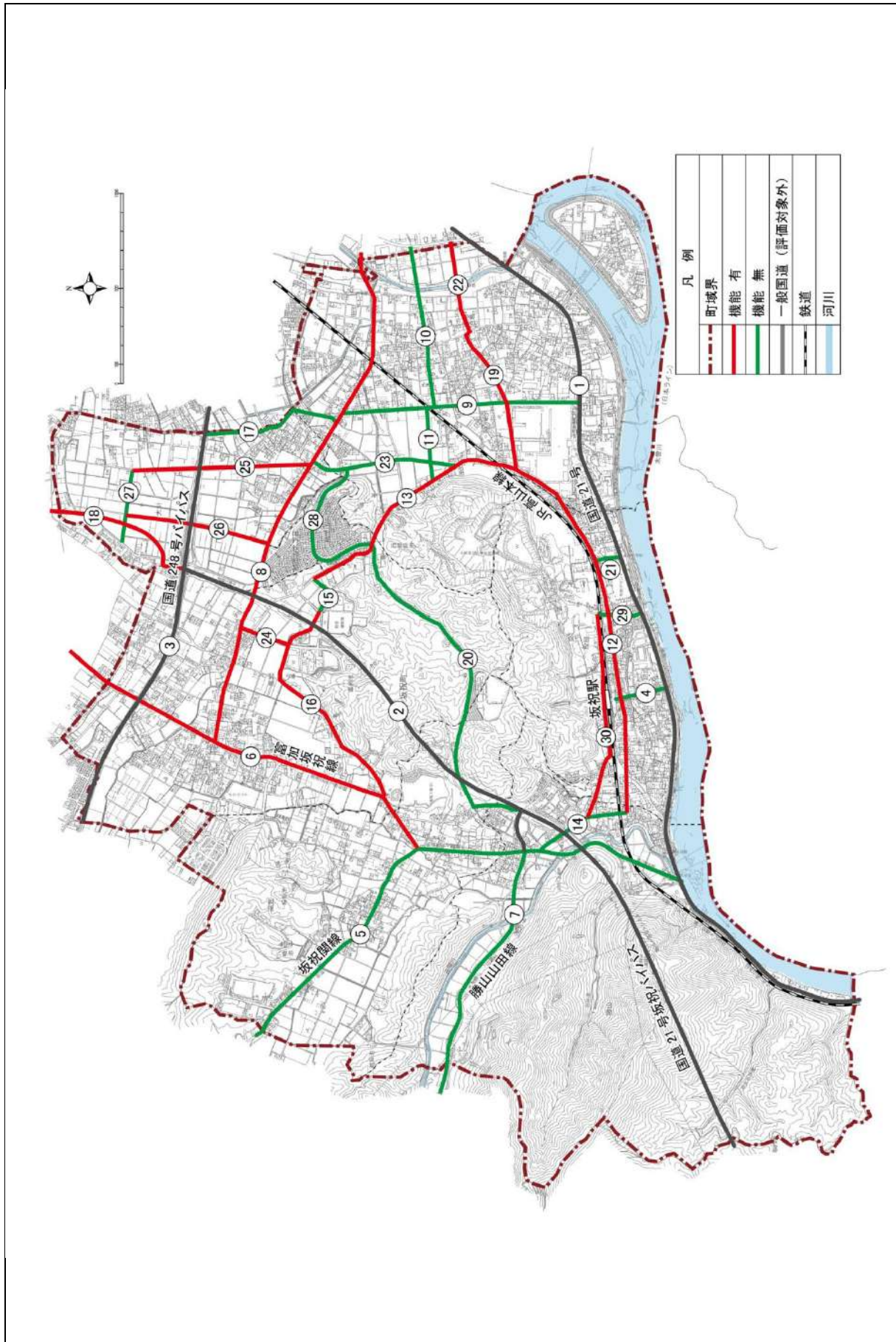
図：道路の種別の評価結果

2) 渋滞のない道路

H22 道路交通センサスにおける混雑度が 1.0 以上の路線や現状で混雑が見られる道路及びそれらの代替路線としての機能を有する道路を評価します。

表: 渋滞のない道路の評価結果一覧

番号	路線名	延長 (km)	評価	摘要
4	一般県道 坂祝停車場線	0.24	—	
5	一般県道 坂祝・関線	2.72	—	
6	一般県道 富加・坂祝線	1.91	○	一部時間帯で渋滞が見られる路線
7	一般県道 勝山・山田線	1.22	—	
8	町道 酒倉～黒岩線	2.67	○	H22センサスで混雑度が高い国道248号バイパスの代替路
9	町道 北高見～上寿後線	1.23	—	
10	町道 深田～大門線	1.75	—	
11	町道 大坪～山本線	0.37	—	
12	町道 取組～勝山線	1.35	○	H22センサスで混雑度が高い国道21号の代替路
13	町道 取組～黒岩線	1.94	○	H22センサスで混雑度が高い国道21号の代替路
14	町道 勝山27号線	0.57	—	
15	町道 黒岩2・3・5号線	0.50	—	
16	町道 黒岩5号線	1.03	○	一部時間帯で混雑が見られる一般県道富加坂祝線の代替路
17	町道 大針1号線	0.75	—	
18	町道 55号・新規路線	0.79	○	一部時間帯で混雑が見られる一般県道富加坂祝線の代替路
19	町道 中組～茶屋線	0.76	○	H22センサスで混雑度が高い国道21号の代替路
20	町道 深萱～酒倉・深萱～取組線	1.62	—	
21	町道 大林線	0.15	—	
22	町道 中組～深田線	0.46	○	H22センサスで混雑度が高い国道21号の代替路
23	町道 酒倉～大針線	0.75	—	
24	町道 黒岩6号線	0.20	○	一部時間帯で混雑が見られる一般県道富加坂祝線の代替路
25	町道 大針3号線	0.93	○	H22センサスで混雑度が高い国道248号バイパスを立体交差で通過できる路線
26	町道 大針7号線	0.75	○	H22センサスで混雑度が高い国道248号バイパスを立体交差で通過できる路線
27	町道 大針17号線	0.39	—	
28	町道 加茂山1号線	0.84	—	
29	町道 寺東線	0.21	—	
30	町道 深萱～取組・取組15・19号線	0.91	○	H22センサスで混雑度が高い国道21号の代替路



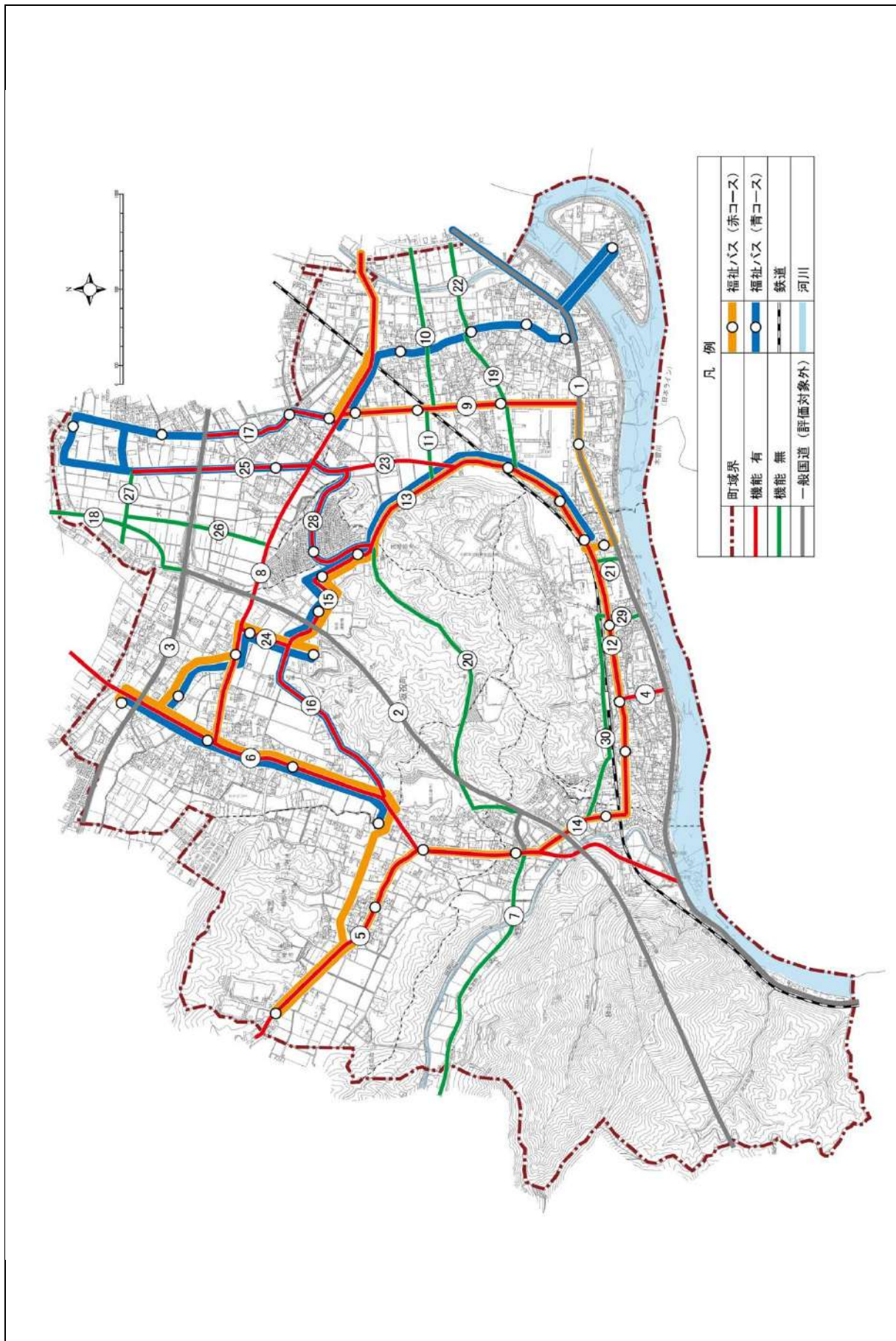
図：渋滞の無い道路の評価結果

3) 公共交通機関の利用を促進する道路

公共交通の利便性を向上させる駅へのアクセス道路、公共交通機関の利用を促進する道路を評価します。

表:公共交通機関の利用を促進する道路の評価結果一覧

番号	路線名	延長 (km)	評価	摘要
4	一般県道 坂祝停車場線	0.24	○	坂祝駅へのアクセス道路
5	一般県道 坂祝・関線	2.72	○	福祉バス(赤コース)のルート
6	一般県道 富加・坂祝線	1.91	○	福祉バス(赤コース・青コース)のルート
7	一般県道 勝山・山田線	1.22	—	
8	町道 酒倉～黒岩線	2.67	○	福祉バス(赤コース・青コース)のルート
9	町道 北高見～上寿後線	1.23	○	福祉バス(赤コース)のルート
10	町道 深田～大門線	1.75	—	
11	町道 大坪～山本線	0.37	—	
12	町道 取組～勝山線	1.35	○	坂祝駅へのアクセス道路 福祉バス(赤コース)のルート
13	町道 取組～黒岩線	1.94	○	福祉バス(赤コース・青コース)のルート
14	町道 勝山27号線	0.57	○	福祉バス(赤コース)のルート
15	町道 黒岩2・3・5号線	0.50	○	福祉バス(赤コース・青コース)のルート
16	町道 黒岩5号線	1.03	○	福祉バス(赤コース・青コース)のルート
17	町道 大針1号線	0.75	○	福祉バス(青コース)のルート
18	町道 55号・新規路線	0.79	—	
19	町道 中組～茶屋線	0.76	—	
20	町道 深萱～酒倉・深萱～取組線	1.62	—	
21	町道 大林線	0.15	—	
22	町道 中組～深田線	0.46	—	
23	町道 酒倉～大針線	0.75	○	福祉バス(青コース)のルート
24	町道 黒岩6号線	0.20	○	福祉バス(赤コース・青コース)のルート
25	町道 大針3号線	0.93	○	福祉バス(青コース)のルート
26	町道 大針7号線	0.75	—	
27	町道 大針17号線	0.39	—	
28	町道 加茂山1号線	0.84	○	福祉バス(青コース)のルート
29	町道 寺東線	0.21	—	
30	町道 深萱～取組・取組15・19号線	0.91	—	



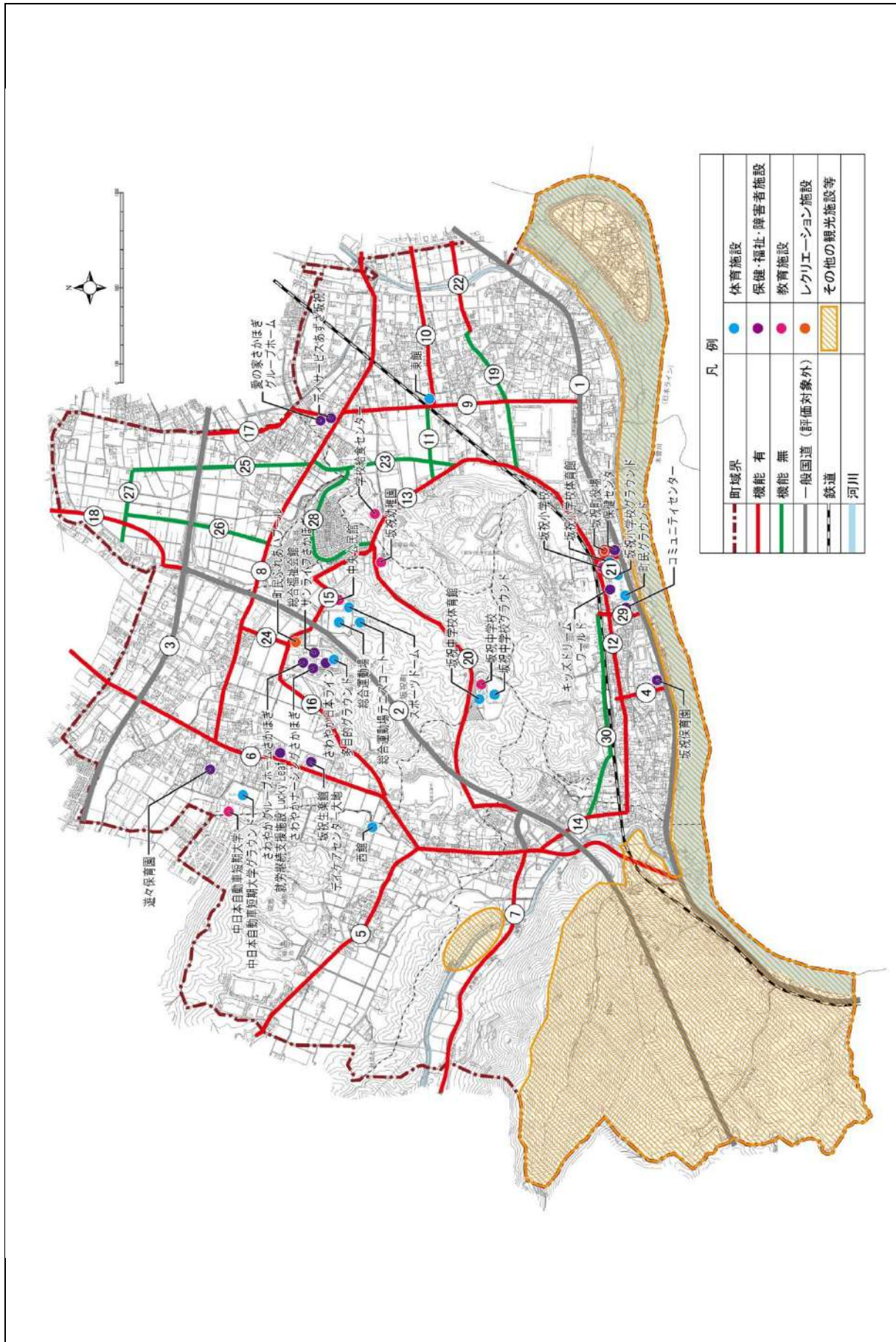
図：公共交通機関の利用を促進する道路の評価結果

4) 施設利用を促進する道路

主要施設に連絡する道路及び観光・レクリエーションなどによる地域間の交流を促進する道路を評価します。

表:施設利用を促進する道路の評価結果一覧

番号	路線名	延長 (km)	評価	摘要
4	一般県道 坂祝停車場線	0.24	○	福祉施設・飛騨木曾川国定公園へのアクセス道路
5	一般県道 坂祝・関線	2.72	○	関市との交流を促進する道路 飛騨木曾川国定公園へのアクセス道路
6	一般県道 富加・坂祝線	1.91	○	美濃加茂市との交流を促進する道路
7	一般県道 勝山・山田線	1.22	○	ホテル生息地へのアクセス道路 関市との交流を促進する道路
8	町道 酒倉～黒岩線	2.67	○	美濃加茂市との交流を促進する道路
9	町道 北高見～上寿後線	1.23	○	体育施設へのアクセス道路
10	町道 深田～大門線	1.75	○	体育施設へのアクセス道路
11	町道 大坪～山本線	0.37	—	
12	町道 取組～勝山線	1.35	○	教育施設・福祉施設へのアクセス道路
13	町道 取組～黒岩線	1.94	○	教育施設へのアクセス道路
14	町道 勝山27号線	0.57	○	猿啄城展望台登山口へのアクセス道路
15	町道 黒岩2・3・5号線	0.50	○	体育施設・教育施設へのアクセス道路
16	町道 黒岩5号線	1.03	○	体育施設・福祉施設・レクリエーション施設へのアクセス道路
17	町道 大針1号線	0.75	○	福祉施設へのアクセス道路
18	町道 55号・新規路線	0.79	○	美濃加茂市との交流を促進する道路
19	町道 中組～茶屋線	0.76	—	
20	町道 深萱～酒倉・深萱～取組線	1.62	○	体育施設・教育施設へのアクセス道路
21	町道 大林線	0.15	○	体育施設・教育施設・福祉施設・飛騨木曾川国定公園へのアクセス道路
22	町道 中組～深田線	0.46	○	美濃加茂市との交流を促進する道路
23	町道 酒倉～大針線	0.75	—	
24	町道 黒岩6号線	0.20	○	体育施設・福祉施設・レクリエーション施設へのアクセス道路
25	町道 大針3号線	0.93	—	
26	町道 大針7号線	0.75	—	
27	町道 大針17号線	0.39	—	
28	町道 加茂山1号線	0.84	—	
29	町道 寺東線	0.21	○	福祉施設・飛騨木曾川国定公園へのアクセス道路
30	町道 深萱～取組・取組15・19号線	0.91	—	



図：施設利用を促進する道路の評価結果

5) 安心で質の高い道路

災害時・緊急時等における輸送手段を確保する道路である緊急輸送道路に指定されている道路や、災害時の拠点や避難場所や避難所にアクセスする道路を評価します。

表: 安心で質の高い道路の評価結果一覧

番号	路線名	延長 (km)	評価	摘要
4	一般県道 坂祝停車場線	0.24	—	
5	一般県道 坂祝・関線	2.72	○	第2次緊急輸送道路 指定緊急避難場所へのアクセス道路
6	一般県道 富加・坂祝線	1.91	○	指定緊急避難場所へのアクセス道路
7	一般県道 勝山・山田線	1.22	—	
8	町道 酒倉～黒岩線	2.67	—	
9	町道 北高見～上寿後線	1.23	○	指定緊急避難場所兼指定避難所へのアクセス道路
10	町道 深田～大門線	1.75	○	指定緊急避難場所兼指定避難所へのアクセス道路
11	町道 大坪～山本線	0.37	—	
12	町道 取組～勝山線	1.35	○	町役場、交番、指定緊急避難場所兼指定避難所、指定緊急避難場所へのアクセス道路
13	町道 取組～黒岩線	1.94	○	町役場、指定緊急避難場所兼指定避難所へのアクセス道路
14	町道 勝山27号線	0.57	○	指定緊急避難場所へのアクセス道路
15	町道 黒岩2・3・5号線	0.50	○	指定緊急避難場所兼指定避難所へのアクセス道路
16	町道 黒岩5号線	1.03	○	指定緊急避難場所兼指定避難所へのアクセス道路
17	町道 大針1号線	0.75	—	
18	町道 55号・新規路線	0.79	—	
19	町道 中組～茶屋線	0.76	○	指定緊急避難場所へのアクセス道路
20	町道 深萱～酒倉・深萱～取組線	1.62	○	指定緊急避難場所兼指定避難所へのアクセス道路
21	町道 大林線	0.15	○	第2次緊急輸送道路 町役場へのアクセス道路
22	町道 中組～深田線	0.46	—	
23	町道 酒倉～大針線	0.75	—	
24	町道 黒岩6号線	0.20	○	指定緊急避難場所兼指定避難所へのアクセス道路
25	町道 大針3号線	0.93	—	
26	町道 大針7号線	0.75	—	
27	町道 大針17号線	0.39	—	
28	町道 加茂山1号線	0.84	○	指定緊急避難場所へのアクセス道路
29	町道 寺東線	0.21	○	交番へのアクセス道路
30	町道 深萱～取組・取組15・19号線	0.91	○	指定緊急避難場所へのアクセス道路

6) 安全で快適な道路

通学路や教育施設へのアクセス道路等の歩行者や自転車の利用が多い路線、人身事故多発場所を含む路線、大規模な工場へのアクセス道路や工業系用途地域内の道路で、大型車の通行が多い路線など、安全で快適な道路空間の確保が必要な路線を評価します。

表:安全で快適な道路の評価結果一覧

番号	路線名	延長 (km)	評価	摘要
4	一般県道 坂祝停車場線	0.24	○	通学路
5	一般県道 坂祝・関線	2.72	○	通学路、人身事故多発場所 大規模な工場等へのアクセス道路
6	一般県道 富加・坂祝線	1.91	○	通学路、人身事故多発場所 大規模な工場等へのアクセス道路
7	一般県道 勝山・山田線	1.22	○	人身事故多発場所
8	町道 酒倉～黒岩線	2.67	○	通学路、人身事故多発場所
9	町道 北高見～上寿後線	1.23	○	人身事故多発場所 大規模な工場等へのアクセス道路
10	町道 深田～大門線	1.75	—	
11	町道 大坪～山本線	0.37	○	人身事故多発場所
12	町道 取組～勝山線	1.35	○	教育施設へのアクセス道路、 人身事故多発場所
13	町道 取組～黒岩線	1.94	○	通学路、教育施設へのアクセス道路
14	町道 勝山27号線	0.57	—	
15	町道 黒岩2・3・5号線	0.50	○	通学路、教育施設へのアクセス道路
16	町道 黒岩5号線	1.03	○	人身事故多発場所 大規模な工場等へのアクセス道路
17	町道 大針1号線	0.75	—	
18	町道 55号・新規路線	0.79	○	大規模な工場等へのアクセス道路
19	町道 中組～茶屋線	0.76	○	通学路 大規模な工場等へのアクセス道路
20	町道 深萱～酒倉・深萱～取組線	1.62	○	通学路、教育施設へのアクセス道路
21	町道 大林線	0.15	—	
22	町道 中組～深田線	0.46	—	
23	町道 酒倉～大針線	0.75	○	通学路
24	町道 黒岩6号線	0.20	○	人身事故多発場所
25	町道 大針3号線	0.93	○	通学路、人身事故多発場所
26	町道 大針7号線	0.75	—	
27	町道 大針17号線	0.39	—	
28	町道 加茂山1号線	0.84	○	通学路
29	町道 寺東線	0.21	○	交通事故多発場所 大規模な工場等へのアクセス道路
30	町道 深萱～取組・取組15・19号線	0.91	○	通学路、人身事故多発場所 大規模な工場等へのアクセス道路

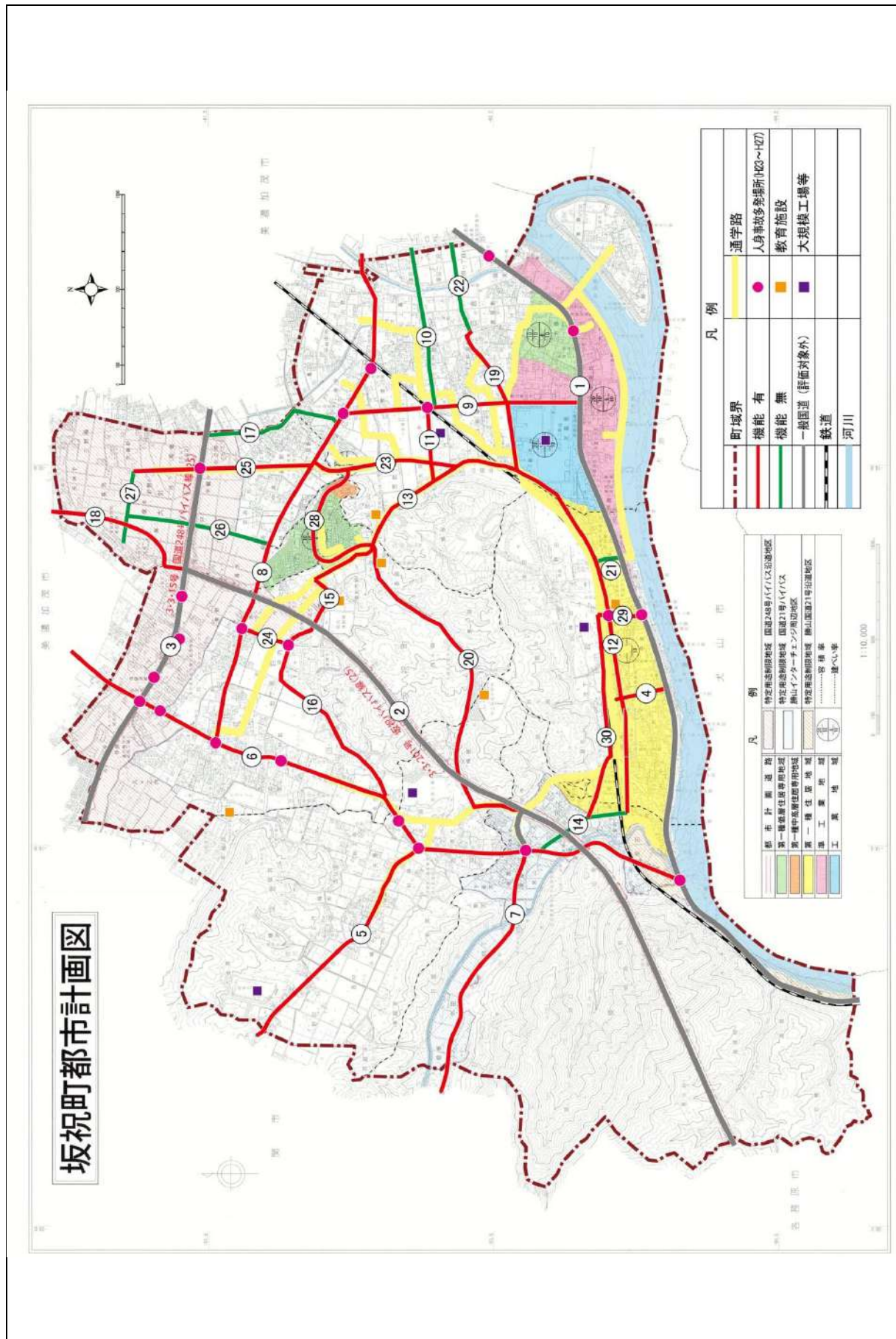


図:安全で快適な道路の評価結果

7) 平均幅員状況

整備の緊急性から評価するため、路上駐車がある場合にはしご車が通り抜けることができない平均幅員「5.5m未滿」の路線を評価します。

表:平均幅員状況の評価結果一覧

番号	路線名	延長 (km)	評価	摘要
4	一般県道 坂祝停車場線	0.24	○	平均幅員 4.2m
5	一般県道 坂祝・関線	2.72	—	平均幅員 5.5m
6	一般県道 富加・坂祝線	1.91	—	平均幅員 5.5m
7	一般県道 勝山・山田線	1.22	—	平均幅員 5.5m
8	町道 酒倉～黒岩線	2.67	—	平均幅員 5.8m
9	町道 北高見～上寿後線	1.23	—	平均幅員 5.5m
10	町道 深田～大門線	1.75	○	平均幅員 4.9m
11	町道 大坪～山本線	0.37	—	平均幅員 5.5m
12	町道 取組～勝山線	1.35	○	平均幅員 5.0m
13	町道 取組～黒岩線	1.94	○	平均幅員 5.3m
14	町道 勝山27号線	0.57	○	平均幅員 4.6m
15	町道 黒岩2・3・5号線	0.50	—	平均幅員 7.5m
16	町道 黒岩5号線	1.03	—	平均幅員 5.7m
17	町道 大針1号線	0.75	—	平均幅員 5.9m
18	町道 55号・新規路線	0.79	○	平均幅員 4.4m
19	町道 中組～茶屋線	0.76	○	平均幅員 4.6m
20	町道 深萱～酒倉・深萱～取組線	1.62	○	平均幅員 4.5m
21	町道 大林線	0.15	○	平均幅員 5.3m
22	町道 中組～深田線	0.46	○	平均幅員 4.5m
23	町道 酒倉～大針線	0.75	—	平均幅員 5.5m
24	町道 黒岩6号線	0.20	—	平均幅員 6.0m
25	町道 大針3号線	0.93	○	平均幅員 4.9m
26	町道 大針7号線	0.75	○	平均幅員 5.1m
27	町道 大針17号線	0.39	○	平均幅員 3.9m
28	町道 加茂山1号線	0.84	—	平均幅員 6.4m
29	町道 寺東線	0.21	○	平均幅員 4.0m
30	町道 深萱～取組・取組15・19号線	0.91	○	平均幅員 3.4m

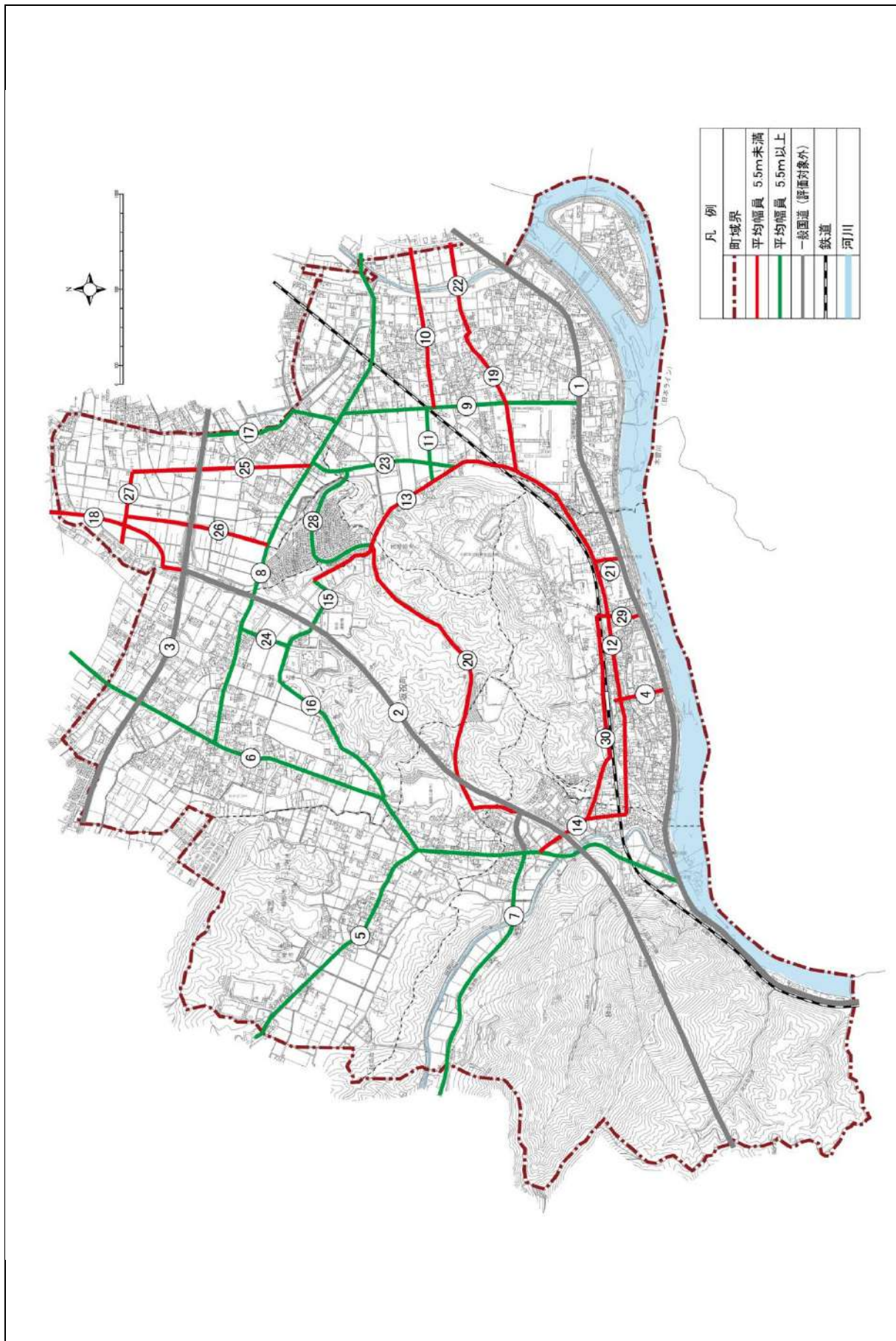


図: 平均幅員状況の評価結果

8) 歩道設置状況

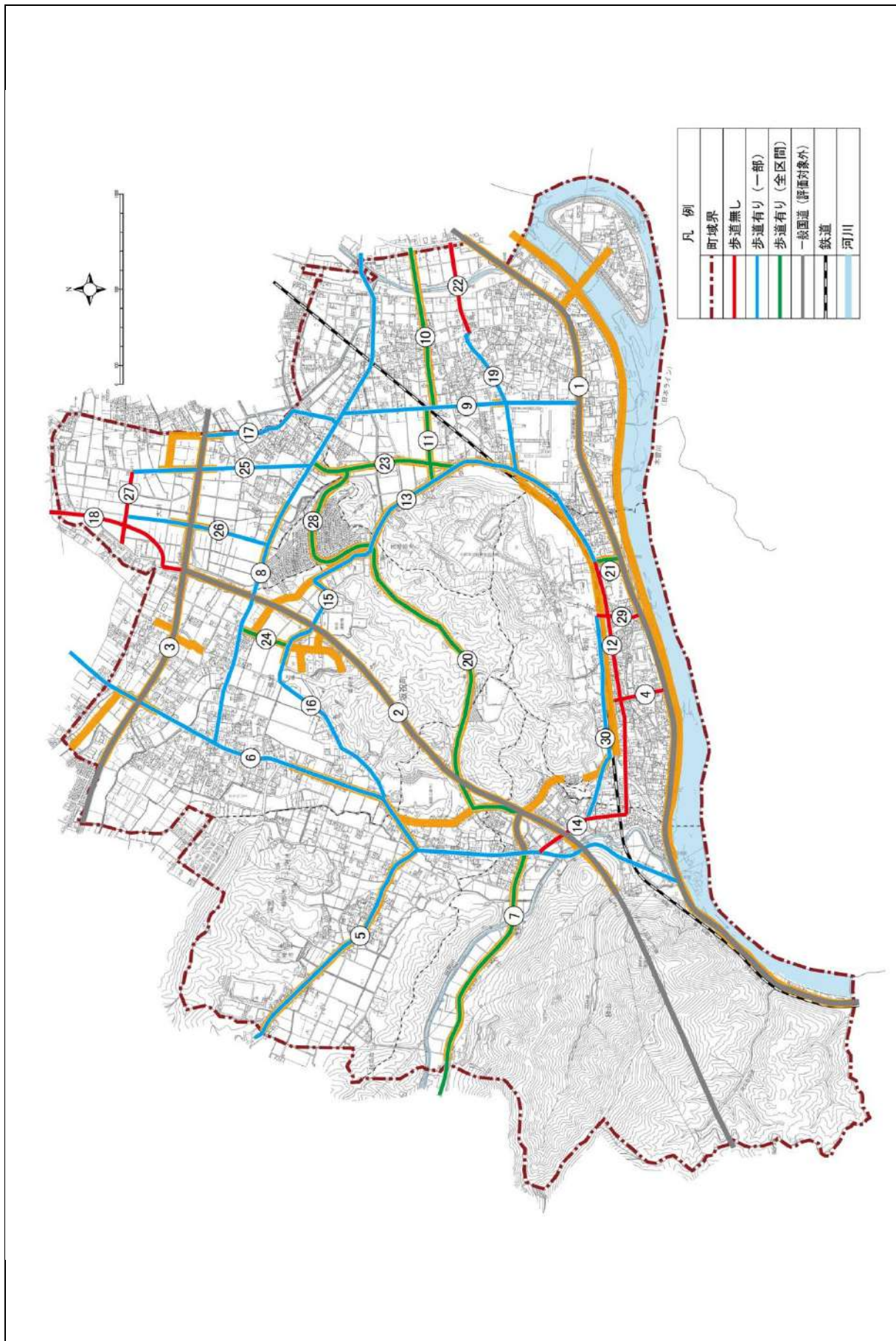
整備の緊急性から評価するため、歩道「有り（一部）」「無し」の路線を評価します。

【歩道の有無の考え方】

- 歩道有り（全区間）：路線区間全てに歩道有り
- 歩道有り（一部）：路線区間内の一部に歩道有り
- 歩道無し：路線区間全てに歩道が無い

表：歩道設置状況の評価結果一覧

番号	路線名	延長 (km)	評価		摘要
			歩道無し	歩道あり (一部)	
4	一般県道 坂祝停車場線	0.24	○	—	
5	一般県道 坂祝・関線	2.72	—	○	
6	一般県道 富加・坂祝線	1.91	—	○	
7	一般県道 勝山・山田線	1.22	—	—	
8	町道 酒倉～黒岩線	2.67	—	○	
9	町道 北高見～上寿後線	1.23	—	○	
10	町道 深田～大門線	1.75	—	—	
11	町道 大坪～山本線	0.37	—	—	
12	町道 取組～勝山線	1.35	○	—	
13	町道 取組～黒岩線	1.94	—	○	
14	町道 勝山27号線	0.57	○	—	
15	町道 黒岩2・3・5号線	0.50	—	○	
16	町道 黒岩5号線	1.03	—	○	
17	町道 大針1号線	0.75	—	○	
18	町道 55号・新規路線	0.79	○	—	
19	町道 中組～茶屋線	0.76	—	○	
20	町道 深萱～酒倉・深萱～取組線	1.62	—	—	
21	町道 大林線	0.15	—	—	
22	町道 中組～深田線	0.46	○	—	
23	町道 酒倉～大針線	0.75	—	—	
24	町道 黒岩6号線	0.20	—	—	
25	町道 大針3号線	0.93	—	○	
26	町道 大針7号線	0.75	—	○	
27	町道 大針17号線	0.39	○	—	
28	町道 加茂山1号線	0.84	—	—	
29	町道 寺東線	0.21	○	—	
30	町道 深萱～取組・取組15・19号線	0.74	—	○	



図：歩道設置状況の評価結果

(4) 評価結果

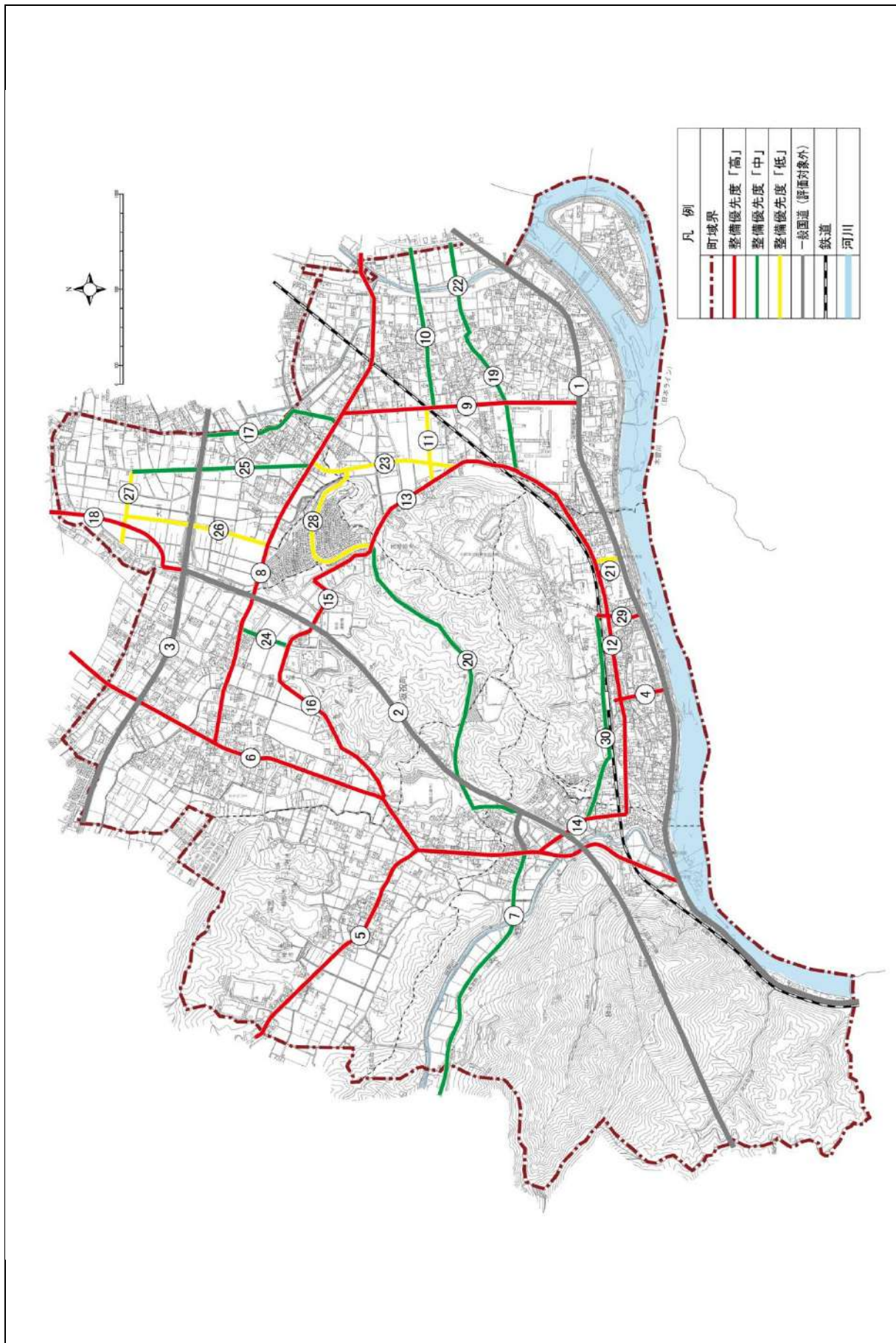
評価指標に基づき評価した結果は、以下のとおりとなります。整備の優先性は、評価指標に合致する項目に対する評価点の合計の上位のものほど整備優先性が高いとします。

評価点は、各評価指標1点を基本とし、評価指標のうち道路の種別及び歩道設置状況については、評価指標内で評価点に差をつけています。

このようにして評価した結果から、将来幹線道路網を評価点の合計の上位(8点～7点)を整備優先度：高、中位(6点～5点)を整備優先度：中、下位(4点～3点)を整備優先度：低とします。

表：整備優先度の評価結果一覧

番号	路線名	評価指標											整備優先度	
		必要性							緊急性					
		交通機能			まちづくり機能		生活環境機能		車道平均幅員5.5m未満	歩道設置		合計		
		道路の種別			渋滞のない道路	促進する道路	公共交通機関の利用を促進する道路	施設利用を促進する道路		安いで質の高い道路	安全で快適な道路			無し
主要幹線	幹線	補助幹線												
	【評価点】	3	2	1	1	1	1	1	1	1	2	1		
4	一般県道 坂祝停車場線	○	—	—	—	○	○	—	○	○	○	—	9	高
5	一般県道 坂祝・関線	○	—	—	—	○	○	○	○	—	—	○	8	高
6	一般県道 富加・坂祝線	○	—	—	○	○	○	○	○	—	—	○	9	高
7	一般県道 勝山・山田線	○	—	—	—	—	○	—	○	—	—	—	5	中
8	町道 酒倉～黒岩線	—	○	—	○	○	○	—	○	—	—	○	7	高
9	町道 北高見～上寿後線	—	○	—	—	○	○	○	○	—	—	○	7	高
10	町道 深田～大門線	—	○	—	—	—	○	○	—	○	—	—	5	中
11	町道 大坪～山本線	—	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	3	低
12	町道 取組～勝山線	—	○	—	○	○	○	○	○	○	○	—	10	高
13	町道 取組～黒岩線	—	○	—	○	○	○	○	○	○	—	○	9	高
14	町道 勝山27号線	—	○	—	—	○	○	○	—	○	○	—	8	高
15	町道 黒岩2・3・5号線	—	○	—	—	○	○	○	○	—	—	○	7	高
16	町道 黒岩5号線	—	○	—	○	○	○	○	○	—	—	○	8	高
17	町道 大針1号線	—	○	—	—	○	○	—	—	—	—	○	5	中
18	町道 55号・新規路線	—	○	—	○	—	○	—	○	○	○	—	8	高
19	町道 中組～茶屋線	—	—	○	○	—	—	○	○	○	—	○	6	中
20	町道 深萱～酒倉・深萱～取組線	—	—	○	—	—	○	○	○	○	—	—	5	中
21	町道 大林線	—	—	○	—	—	○	○	—	○	—	—	4	低
22	町道 中組～深田線	—	—	○	○	—	○	—	—	○	○	—	6	中
23	町道 酒倉～大針線	—	—	○	—	○	—	—	○	—	—	—	3	低
24	町道 黒岩6号線	—	—	○	○	○	○	○	○	—	—	—	6	中
25	町道 大針3号線	—	—	○	○	○	—	—	○	○	—	○	6	中
26	町道 大針7号線	—	—	○	○	—	—	—	—	○	—	○	4	低
27	町道 大針17号線	—	—	○	—	—	—	—	—	○	○	—	4	低
28	町道 加茂山1号線	—	—	○	—	○	—	○	○	—	—	—	4	低
29	町道 寺東線	—	—	○	—	—	○	○	○	○	○	—	7	高
30	町道 深萱～取組・取組15・19号線	—	—	○	○	—	—	○	○	○	—	○	6	中



図：整備優先度の評価結果

第5章 整備プログラムの策定

5-1 都市内道路網整備計画の検討

これまでに評価を行った幹線道路の整備方針を整備優先度ごとにまとめます。

当町の幹線道路の整備は、基本的には改良済の路線や全区間で2車線確保されておりかつ歩道が整備されている路線など、一定の水準の整備がされている路線を除き、重点的な整備事項のある路線について整備優先度順に進めていきます。

しかしながら、今後の社会経済情勢の変化や、都市構造の変化等との関連性など、より効率・効果的な整備と判断した場合や町内のネットワーク形成において早急な対応が必要な状況になった場合は、整備順位が前後することがあります。また、道路拡幅を必要とする場合においても、2車線の確保が非常に困難な箇所については、整備の緊急性を考慮した1.5車線化も含めて検討します。

整備主体が県の路線については、整備優先度に応じ要望を積極的に行いますが、道路管理者とのスケジュール調整が必要です。

【整備優先度】

- 整備優先度「高」の路線で、重点整備事項のある路線は、当町の幹線道路網を構成する上で重要性が最も高い道路であり、最優先に整備を検討します。

- 整備優先度「中」の路線は、「高」に次いで重要性が高い路線であり、重点整備事項のある路線は整備優先度「高」の整備後に進めていきます。

- 整備優先度「低」の路線は、「高」「中」ほど重要ではないが、当町の将来幹線道路網を構成するうえで必要な路線です。「低」路線における整備は、重点整備事項のある路線は「高」及び「中」路線の整備の目処がたった後に進めます。

整備主体：県 町

I. 整備優先度：「高」：重要性の最も高い路線

整備優先度が高位の路線は以下の通りです。

種別	番号	路線名	整備主体	整備方針
主要幹線道路	4	坂祝停車場線	県	【重点整備事項】 ・坂祝駅へのアクセス道路であり、歩道設置など、公共交通機関の利用の促進のために必要な整備を要望
	5	坂祝・関線	県	【重点整備事項】 ・歩道設置など、安心・安全性確保に必要な整備を要望
	6	富加・坂祝線	県	【重点整備事項】 ・渋滞が心配される路線であり狭隘区間の拡幅や歩道設置による安心・安全性確保など、必要な整備を要望
幹線道路	8	酒倉～黒岩線	町	【重点整備事項】 ・渋滞が心配される道路の代替路線として安心・安全性確保など、必要な整備を検討
	9	北高見～上寿後線	町	【重点整備事項】 ・歩道設置による安心・安全性確保など、必要な整備を検討
	12	取組～勝山線	町	【重点整備事項】 ・坂祝駅へのアクセス道路であり、狭隘区間の拡幅による安心・安全性確保など、必要な整備を検討
	13	取組～黒岩線	町	【重点整備事項】 ・狭隘区間の拡幅による安心・安全性確保など、必要な整備を検討
	14	勝山27号線	町	【重点整備事項】 ・狭隘区間の解消や歩道設置による安心・安全性確保など、必要な整備を検討
	15	黒岩2・3・5号線	町	【重点整備事項】 ・狭隘区間の解消や歩道設置による安心・安全性確保など、必要な整備を検討
	16	黒岩5号線	町	【重点整備事項】 ・渋滞が心配される道路の代替路線として、安心・安全性確保など、必要な整備を検討
	18	55号・新規路線線	町	【重点整備事項】 ・国道21号坂祝バイパスと接続し、広域的な連携・交流を図る路線の整備を検討
補助幹線道路	29	寺東線	町	【重点整備事項】 ・採石場と国道21号を結ぶ路線で大型車両の通行が多い区間であり、狭隘区間の拡幅や歩道の設置による安心・安全性確保など、必要な整備を検討

Ⅱ. 整備優先度：「中」：優先度「高」に次いで重要性の高い路線

整備優先度が中位の路線は以下の通りです。

種別	番号	路線名	整備主体	整備方針
主要幹線道路	7	勝山～山田線	県	・一定の整備は行われており、適切な維持管理や今後の交通状況等に応じた改善を要望
幹線道路	10	深田～大門線	町	・一定の整備は行われており、適切な維持管理や今後の交通状況等に応じた改善を検討
	17	大針1号線	町	・一定の整備は行われており、適切な維持管理や今後の交通状況等に応じた改善を検討
補助幹線道路	19	中組～茶屋線	町	【重点整備事項】 ・狭隘区間の解消による安心・安全性確保など、必要な整備を検討
	20	深萱～酒倉線	町	【重点整備事項】 ・狭隘区間の解消による安心・安全性確保など、必要な整備を検討
	22	中組～深田線	町	【重点整備事項】 ・狭隘区間の解消や歩道の設置による安心・安全性確保など、必要な整備を検討
	24	黒岩6号線	町	・一定の整備は行われており、適切な維持管理や今後の交通状況等に応じた改善を検討
	25	大針3号線	町	【重点整備事項】 ・狭隘区間の解消による安心・安全性確保など、必要な整備を検討
	30	深萱～取組線、 取組15・19号線	町	【重点整備事項】 ・郷部山の採石場、工場等が集積している区域と国道21号坂祝バイパスを結び、大型車が極力生活道路等に混入しないよう狭隘区間の解消・路線の新設による安心・安全性確保など、必要な整備を検討

Ⅲ. 整備優先度：「低」：幹線道路網として必要な路線

整備優先度が低位の路線は以下の通りです。

種別	番号	路線名	整備主体	整備方針
幹線道路	11	大坪～山本線	町	・一定の整備は行われており、適切な維持管理や今後の交通状況等に応じた改善を検討
補助幹線道路	21	大林線	町	・一定の整備は行われており、適切な維持管理や今後の交通状況等に応じた改善を検討
	23	酒倉～大針線	町	・一定の整備は行われており、適切な維持管理や今後の交通状況等に応じた改善を検討
	26	大針7号線	町	【重点整備事項】 ・渋滞が心配される道路の代替路線として、狭隘区間の解消など、安心・安全性確保に必要な整備を検討
	27	大針17号線	町	【重点整備事項】 ・狭隘区間の解消など、安心・安全性確保に必要な整備を検討
	28	加茂山1号線	町	・一定の整備は行われており、適切な維持管理や今後の交通状況等に応じた改善を検討

5-2 今後の課題

本計画では、町内の幹線道路について、当初計画から概ね5年が経過したことから、計画の進捗状況を確認し、将来のまちづくりとの整合性を踏まえた幹線道路網の見直し、整備優先度の見直しを行いました。

今後、本町における幹線道路整備は、本計画に基づき着実に実施すべきですが、国道や県道、あるいは他市と接続する路線については、各道路管理者と整備時期について調整が必要となります。

また、今後、整備の進捗状況やまちづくりの進展により、幹線道路を取り巻く環境が変化していくことも考えられるため、本計画をより実効性の高い計画としていくため、PDCA サイクルに基づく継続的な評価と定期的な見直しが必要です。

本計画では、町内の幹線道路を対象としていますが、生活道路についても整備要望が各地区から上がってきており、町でも随時整備を進めていますが、財政的な制約もあり、要望路線を全て整備することが困難になってきているため、それらの整備優先度を客観的に評価する仕組みづくりについても今後検討が必要です。



図：PDCAサイクル